

年 報

—平成 23 年度—

2012

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 23 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 23 年度は前年度末に発生した東日本大震災の混乱を引きずったまま始まりました。余震、津波はもちろんのこと、計画停電の影響が心配される中、予定していた行事を実施するか、取りやめにするか、館内外で協議をしました。また行事を実施する場合も、地震発生時の対処方法について度々、検討を重ねました。幸い予定どおりに行事を実施することができ、その経験は今後の博物館活動における危機管理のあり方を考える機会となりました。

館事業について、平成 23 年度は 6 本の企画展を開催しました。6 月から 7 月にかけて収蔵資料の公開を目的としたミニ展示を、7 月上旬にはわずか 4 日間の会期でしたが、財団法人吉田茂国際基金より寄贈を受けた資料の特別公開を開催しました。夏休みの期間には前年度の春の植物をテーマにした学習参考資料展に引き続き、学習参考資料展『みんなで調べた 今夏の大磯町の花』を開催し、ワークショップの調査結果を紹介しました。秋季は、平成 21 年度以降、当館では 1 年に 1 回は大磯ゆかりの人物に焦点をあてた展示を開催するようしており、23 年度は孤児救済に尽力された澤田美喜に焦点をあてた企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンバス—』を開催しました。また、冬季には館所蔵の歴史資料を中心としたミニ企画展『古文書あれこれ—収蔵資料の紹介—』を開催し、春季には人気が高く、ほぼ隔年おきに継続して実施している企画展『春を彩る雛人形展』を開催しました。

ワークショップでは、「大磯自然観察会」、「古文書裏打クラブ」、「海の森クラブ」を継続的に開催したほか、新たに「石仏クラブ」を立ち上げ、石造物の悉皆調査を進めています。また、ホームページでの情報発信も定着し、速報的な館の活動情報を流しておりますので、是非ご覧下さい。

今後とも資料館活動につきまして、ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・学級・講座	8
・ホームページを活用した情報発信	13
・学校教育との連携	13
・他の博物館・生涯学習施設との連携	14
・緑のカーテン	14
・刊行物	14
・調査、研究、普及	15
・博物館実習	16
・博物館資料の収集、整備、利用	18

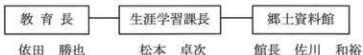
[研究報告]

澤田美喜展の総括	
山口 由紀子・曾根田 貴子	30
講座『みんなで町の自然を調べよう～夏の七草の分布しらべ～』及び 学習参考資料展『みんなで調べた今年の大磯町の花』の実施報告	
北水 慶一	33

事業報告

庶務

■ 組織および職員



副主幹/学芸員 北水 慶一
 主事補/学芸員 大石三紗子
 臨時職員/学芸員 曾根田貴子
 臨時職員/学芸員 山口由紀子
 臨時職員/司書 諏訪部房代
 臨時職員/自然観察指導員 高山 優美

理事

相田 輝幸（～1月5日）
 福島 伸芳（1月6日～）

■ 運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長/廣瀬 利郎（社会教育関係者）
- ・副委員長/近藤 英夫（学識経験者）
- ・委員/稲葉 和也（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
 竹内 浩（学校教育関係者）
 広谷 浩子（学識経験者）

<委員会の開催>

- ・第1回/平成23年7月13日
 - 議題1 平成22年度事業報告について
 - 議題2 平成23年度事業計画及び予算について
 - 議題3 リニューアルプランについて
 - 議題4 館内整理日について
- ・第2回/平成23年11月30日
 - 議題1 平成23年度事業の進捗状況について
 - 議題2 展示リニューアルについて
 - 議題3 館内整理日について
- ・第3回/平成24年2月15日
 - 議題1 平成23年度事業の進捗状況について
 - 議題2 大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例について
 - 議題3 平成24年度事業計画及び予算について
 - 議題4 展示リニューアルについて

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
金額	71,083,000	51,922,000	54,050,000	44,911,000	46,633,000	40,956,000

<平成23年度決算>

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	計
金額	65,000	2,880,989	11,199,191	2,796,141	1,065,288	18,006,609

□職員給与（3人分） 24,341,326円 ■歳出合計 42,347,935円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託/(株)郵生
- ・空調機器給水設備保守委託/扶桑工業(株)
- ・消防用設備保守委託/(株)ヒラボウ
- ・昇降機保守委託/ダイコー(株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託/(株)神奈川ナブコ 厚木支店
- ・自家用電気工作物保守委託/浅葉電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託/湘南興業(有)
- ・警備委託/(株)全日警 横浜支社
- ・敷地管理委託/(財)神奈川県公園協会

<修繕>

- ・加圧給水ポンプ修繕/扶桑工業(株)
- ・空調機ドレンパン修繕工事/扶桑工業(株)
- ・スクリーン取り替え工事/関東映画センター
- ・消防用設備修繕工事/湘南消防器具商会
- ・中庭犬走り沈下箇所他修繕工事/(有)柳田土建
- ・エレベーター電源装置交換修繕/ダイコー(株) 横浜営業所
- ・ブロワーポンプ修繕/扶桑工業(株)

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	累計(昭和63年～)
入館者数	31,697	28,576	34,927	29,782	27,049	766,636
1日平均/開館日数	107/296	98/292	119/294	102/291	93/291	114/6,726

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,393	2,396	2,213	1,912	1,563	1,208	2,756	3,876	2,489	1,472	2,033	2,738	27,049
1日平均	96	96	89	74	63	64	110	155	108	64	85	105	93

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	2	0	0	0	2	5	5	3	2	1	0	22

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	13	11	14	12	12	9	12	9	9	6	8	11	126

■ 企画展

「アオバト」町の鳥制定記念
「大磯照ヶ崎の7hat集団飛来地」神奈川県天然記念物指定15周年記念
企画展『大磯町の海辺の自然』（平成22年度から継続）

期 間／平成23年3月6日（日）～5月15日（日）

開場日数／59日間

会 場／郷土資料館 企画展示室、廻廊

出品点数／約200点

料 金／無料

入場者数／5,662人

後 援／神奈川県教育委員会

（趣旨・内容）町の鳥に制定されたアオバトをはじめ、磯の生物や海浜植物等、海辺に生息する生き物に親しみ、知識を深める機会とする。

剥製、標本、生体写真を展示して、それぞれの生物の形態的、生態的特徴を解説するとともに近年の各分野の調査情報を紹介した。なお、詳細については前年度（平成22年度）の年報を参照願いたい。



【関連行事】

①照ヶ崎の生き物観察

期 日／平成23年4月17日（日）

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／福田良昭氏（相模貝類研究談話会会長）

参加人数／17人

②野鳥を中心とした自然観察

期 日／平成23年4月23日（土）

場 所／大磯港

講 師／こまたん（湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体）

参加人数／16人

③楽しい海藻おしぼづくり

期 日／平成23年10月29日（土）

※ 東日本大震災の影響により3月27日（日）から日程を変更

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／ワークショップ“海の森クラブ”メンバー

参加人数／10人

（内 容）企画展で取り上げた内容について、理解を深めるため、海岸での観察会を2回と室内でのクラフト作業を1回実施した。

企画展は「照ヶ崎海岸のアオバト」、「照ヶ崎海岸周辺で見られる野鳥」、「アカウミガメが産卵に来る砂浜」、「照ヶ崎の岩場で見られる生物」、「海浜植物」、「大磯町の海藻」の6つのテーマで展開したが、そのうちの3テーマを関連行事では取り上げた。照ヶ崎の生き物観察では、講師の方から磯の生物の話しをうかがいながら、貝類、甲殻類、海藻を中心に観察を行なった。野鳥を中心とした自然観察では、大磯港に飛来してくる海鳥の観察を行なった。楽しい海藻おしぼづくりでは、ワークショップ“海の森クラブ”のメンバーが講師となっており、海藻おしぼを製作した。

（担 当）北水・高山



ミニ企画展『資料を遺す～近年の寄贈資料から』
『資料に学ぶ～古文書に見る災害』
『資料を伝える～古文書裏打ち』

期 間／平成23年6月4日(土)
～7月3日(日)

開場日数／25日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約150点

料 金／無料

入場者数／2,176人

(趣 旨) 資料の収集、利用、保存という博物館の活動に焦点をあて、郷土資料館の活動を紹介するために、3つのテーマでミニ企画展を同時開催する。資料の利用については、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受けて、過去に大磯町域で起こった災害をテーマとする。

(内 容)

『資料を遺す』では、近年当館に寄贈された資料の中から特徴的な資料を紹介した。『資料に学ぶ』では、古文書や旧大磯町行政資料、当時の写真(パネル)を展示し、「火災」、「風水害」、「震災」をテーマに、高潮や関東大震災の被害状況や救済方法について紹介した。『資料を伝える』では、当館の資料整理ボランティア「古文書裏打ちクラブ」の活動と、その作業内容を写真パネルや道具を展示することによって、紹介した。

(担 当) 佐川・大石



吉田茂関連資料公開

期 間／平成23年7月5日(火)
～7月8日(金)

開場日数／4日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約100点

料 金／無料

入場者数／449人

(趣旨) 財団法人吉田茂国際基金の解散にとまない、大磯町が残余財産の一部を寄贈され、平成23年7月5日に、当法人へ目録ならびに感謝状を贈呈。この式典にとまない、当法人から寄贈された故吉田茂元首相に関係する資料の一部を公開する。

(内 容) 吉田茂の写真、似顔絵、書簡、米寿の祝いに蒋介石から贈られた扁額、吉田茂が使用したと伝えられる食器等を展示した。

(担 当) 佐川・大石



学習参考資料展『みんなで調べた 今夏の大磯町の花』

期 間／平成23年7月23日(土)～9月21日(水)

※当初は9月25日までを会期としていたが、9月21日に通過した台風15号の影響で、郷土資料館入ロ付近に被害が生じたため、9月22日(木)から9月25日(日)までを臨時休館とした。

開場日数／60日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約200点

料 金／無料



入場者数/3,423人

(趣 旨) 小学校4年生理科「生き物のくらし(2)夏の自然」、中学校理科「植物の世界」の学習内容にあわせて、学習参考資料展を開催する。町内で夏に見られる植物の種類や分布の傾向を学習するとともに花の色、形の多様性を理解する展開を組む。

展示の趣向としては、昨年度と同様に完成した成果物を展示するのではなく、展示が始まって調査を継続し、その都度、新しい情報を入れる手法を取るとともに一般の方でも展示制作者の一員として参加できるような展開を試行する。

(内 容) 展示資料の収集は2つの方法で進めた。ひとつが住民参加型の調査「みんなで町の自然を調べよう」による対象植物の分布データの収集、もうひとつが公募による夏の花の写真的収集である。「みんなで町の自然を調べよう」では30人の方々に参加していただき、大磯町全域を調査することができた。夏の花の写真は10人の方々からご提供いただいた。

展示は「ウツギ属の植物の分布」、「ミズキ属の植物の分布」、「ヒルガオ属の植物の分布」、「夏の七草の分布」、「夏の花」の5つのテーマで構成した。ウツギ属、ミズキ属、ヒルガオ属の植物、また、夏の七草の分布は「みんなで町の自然を調べよう」の調査結果を中心に分布状況、同属の植物との見分け方を紹介した。「夏の花」はご提供いただいた写真をA3版に引き伸ばして展示した。展示した写真パネルの点数は展示初日は61点であったが、徐々に増え、最終的に92点になった。

(担 当) 北水



企画展『澤田美喜－人生はどんな色にでも塗り替えられる キャンパス－』

会 期/平成23年10月22日(土)～12月11日(日)

開場日数/42日間

会 場/郷土資料館 企画展示室、廻廊、休憩室

出品点数/約200点

料 金/無料

入場者数/6,726人

協 力/エリザベス・サンダース・ホーム、

影山智洋写真事務所

(趣 旨) 三井財閥・岩崎家に生まれ、後に初代国連大使となる外交官・澤田廉三と結婚した澤田美喜は、終戦後、進駐軍兵士と日本人女性との間に生まれ、孤児となった子どもたちの救済を決意し、私財をなげうって資金集めに奔走するなど、苦心の末に政府に物納した大磯岩崎別邸を買い戻す。そして、昭和23年(1948)にエリザベス・サンダース・ホームを開設した。しかし、戦後の厳しい時代において、美喜の活動はなかなか理解されず、心無い批判や中傷を受けることも少なくなかった。それでも多くの子どもたちを育て上げ、社会に送り出した功績は、やがて世界の人々も知るころとなり、多くの称賛の声が寄せられるようになる。没後は、大磯町名誉町民として末永く顕彰されている。

本展では、澤田美喜の生き方を「グローバルな視点」・「生命尊厳の哲学」・「平和創造の行動力」という3つの視座から紹介する。未曾有の大災害に見舞われた今だからこそ、どんな困難にもめげず勇敢に信念を貫き通した、美喜の力強い正義の生き方に学ぶことが多いのではないかと考える。

(内 容) 澤田美喜氏は世界を舞台に幅広く活躍した人物であり、人物を浮き立たせるにはキーワードが必要であると考えた。キーワードを3つの柱と位置づけ、展示室をバナーセッションとして三分割した。それぞれのタイトルは、①「グローバルな視点」、②「生命尊厳の哲学」、③「平和創造の行動力」とした。また、澤田氏の生涯を紹介するムービーを地元ボランティア「朗読ボランティアひびき(代表:小林佳代子氏)」の協力のもと郷土資料館が作成し、展示中繰り返し放映した。特に、澤田氏の時代に馴染みのない若い世代への訴求ができた。



【関連行事】

澤田美喜記念館見学会

期 日／〔第1回〕平成23年11月26日（土）

〔第2回〕平成23年12月3日（土）

場 所／澤田美喜記念館

参加人数／44名

（内 容）会期中、関連行事としてエリザベス・サンダース・ホーム内にあり、澤田美喜氏収集の隠れキリシタン資料が展示されている澤田美喜記念館の見学を2回開催した。

見学会では同施設の他、ママチャマハウス（旧澤田家旧宅）やトンネルの見学と解説を行なった。

参加者の募集は事前申し込み制で定員各25名に設定したが、希望者が多く、申し込み受付開始当日の午前中に定員が埋まった。

（担 当）曾根田・山口・佐川



ミニ企画展『古文書あれこれ—収集資料の紹介—』

期 間／平成24年1月5日（木）～1月29日（日）

開場日数／22日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／33点

料 金／無料

入場者数／1,418人

（趣 旨）地域に現存する古文書の保存や収集に対する理解を目的として、郷土資料館で收藏する江戸～明治期の村方文書を紹介する。

（内 容）地域に遺される典型的な村方文書を、大きく4つのテーマに分けて紹介した。

1) 村を知る

村方文書は江戸時代の村の様子を伝える貴重な資料である。村の様子を伝える古文書として、村絵図、村明細帳、宗門人別帳、議定帳を展示した。

2) 年貢を集める

年貢を納めることは江戸時代の村に課された義務だった。村方文書の内容は年貢にかかわるものが多く、検地帳や年貢帳を展示した。

3) お金を借りる

年貢の取り立ては厳しく、村人は借金して年貢を納めていた。このため、村方文書には借金証文が多く含まれる。一見変哲のない資料ではあるが、詳細に分析することにより、地域の土地集積状況などがわかる貴重な資料である。この展示では、それぞれの借金証文の特徴や読み方を紹介した。

4) 明治時代の村

古文書、村方文書という言葉は、本来前近代の資料を指すが、今回の展示では明治時代の村に関係する文書も紹介した。町制施行前の行政は江戸時代以来の村が担っており、江戸時代の村方文書と同じように戸長を務めたお宅に保管されていることもある。古文書というイメージから結び付きにくい、江戸時代からの連続性を意識して紹介した。

その他、古文書の読み方について、釈文から読み下し文、意識という解釈方法の手順や、村方文書の活用として、大磯町が刊行した自治体史等を展示した。これらは実際に手に取って見られるよう、昇降台に配置した。また、展示資料の解説を補助するため、一部資料の釈文と意識を掲載した資料を、展示室内で配布した。

（担 当）大石



企画展「春を彩る雛人形展」

期 間／平成24年2月18日(土)～3月31日(土)

開場日数／36日間

会 場／郷土資料館 企画展示室、廻廊

出品点数／約300点

料 金／無料

入場者数／3,786人

(趣 旨) 年中行事や人生儀礼を通して、伝統的な日本の文化を知るとともに、個人・家・地域がどのように関わってきたのかを考える契機とする。なお、毎年、開催希望が多く寄せられており、今回は4年ぶり通算8回目の雛人形展として開催する。

(内 容) 当館で所蔵している、江戸時代末期から明治、大正、昭和時代に至るまで各時代を彩った雛人形18組を展示した。関連資料を含めて全体の展示資料数は約300点であった。近年、手芸ブームとも相俟って、雛祭りの季節になると、「吊るし雛」が各地で飾られるようになってきている。大磯においても、古くから「吊るし雛」が行なわれていたという誤解を生むことも多く、大磯周辺地域における、従来の行事内容を再確認できるようなパネル展示を行なった。なお、廻廊には「塗り絵コーナー」を設置した。来館者が企画展示の感想や自身の雛祭りの思い出などを書き込むとともに塗り絵をさせていただき、作品をパネルに掲示することで企画展示に参加していただいた。子どもを中心に多くの参加者があり、最終的に100枚が掲示された。また、塗り絵については、持ち帰り希望者を考慮し、企画展終了後の4月8日まで引き続き廻廊にて展示し、その間に持ち帰っていただくこととした。

(担 当) 佐川・諏訪部・曾根田



■ 学級・講座

<古文書裏打クラブ>

① 通常講座

期 日／平成23年5月21日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)、10月15日(土)、11月3日(祝)、12月17日(土)、平成24年1月21日(土)、2月18日(土)、3月17日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加人数／延158人

(内 容) 裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行なうワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。本年度から、他の学級と統一するため、名称を「古文書裏打ちの会」から「古文書裏打クラブ」に改めた。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。また、本年度から随時会員を募集することとし、通常講座においても希望者がある場合は、見学、体験を受け付け、実際に裏打ち作業を体験していただいた。この結果、1名が新たに会員として加入した。なお、6月、8月、9月、11月については、通常講座として作業を進める一方で、博物館実習生、職場体験教職員および一般公開講座として開催した。



②ミニ企画展『資料を伝える～古文書裏打ち』

関連事業「古文書裏打ちクラブ作業公開」

期 日／平成23年6月18日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打ちクラブ会員

体験者数／2人（見学者4人）

（内 容）ミニ企画展『資料を伝える～古文書裏打ち』の関連事業として、古文書裏打ちクラブの作業を公開した。見学に訪れた方が立ち寄られ、希望者には実際に裏打ち作業を体験していただいた。

③職場体験教職員体験講座

期 日／平成23年8月20日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打ちクラブ会員

体験者数／2人

（内 容）教職員の職場体験の一環として開催した。古文書裏打ちクラブの会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行った。

④博物館実習体験講座

期 日／平成23年9月3日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打ちクラブ会員

体験者数／7人

（内 容）博物館学芸員資格を取得するために当館において実習中の博物館実習生を対象に、実習カリキュラムの一環として開催した。古文書裏打ちクラブの会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行った。

⑤おいそ文化祭・古文書裏打ち体験

期 日／平成23年11月3日（木・祝）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打ちクラブ会員

体験者数／4人（見学者9人）

（内 容）おいそ文化祭の参加行事の一つとして、一般を対象に古文書裏打ち体験会を開催した。希望者には実際に裏打ち作業を体験していただいた。

（担 当）佐川・大石

<大磯自然観察会>

期 日／平成23年9月24日（土）、11月12日（土）・26日（土）、12月10日（土）、平成24年1月14日（土）・28日（土）

※平成23年10月22日（土）、平成24年2月25日（土）、3月10日（土）の3回を雨天のため、中止とした。

場 所／大磯運動公園、大磯町西小磯地区、郷土資料館 研修室

参加人数／延72人

（内 容）本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査〔平成11年度・12年度〕、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成13～17年度〕、第3次調査 星槎湘南大磯キャンパス（万台こゆるぎの森）の植物調査〔平成18～20年度〕を実施してきた。現在は第4次調査として、大磯運動公園の植物調査を行なっている。

本年度は当初、9回の活動を予定していたが、3回が雨天中止となり、実施回数は6回にとどまった。



6回の内容としては、大磯運動公園の花暦調査を4回、落ち葉図鑑の作製を2回実施した。落ち葉図鑑の作製とは、それぞれ参加者が落ち葉を拾い、押し葉標本として乾燥させた後、コメントを付け、ラミネートする工程である。11月12日に落ち葉の採集、1月14日にコメントの記載とラミネートを行なった。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
9月24日	大磯運動公園の花暦調査	1月14日	落ち葉図鑑をつくろう②
10月22日	－ 雨天のため中止 －	1月28日	大磯運動公園の花暦調査
11月12日	落ち葉図鑑をつくろう①	2月25日	－ 雨天のため中止 －
11月26日	大磯運動公園の花暦調査	3月10日	－ 雨天のため中止 －
12月10日	大磯運動公園の花暦調査		

(担 当) 北水

<海の森クラブ>

期 日/平成23年4月28日(木)、5月26日(木)、6月30日(木)、7月28日(木)、10月29日(土)、11月24日(木)、平成24年1月14日(土)・26日(木)、2月11日(土)・23日(木)、3月8日(木)・24日(土)

場 所/町内海岸、大磯港港湾管理事務所

参加人数/延29人

(内 容) 本年度2年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として、活動を進めている。

1年目は試行錯誤の中、海藻おしばの標本製作や企画展でのパネル、キャプション作製など実務的な作業を中心に進めた。2年目は海藻の目録化の作業を具体的に進めるべく、4、5月は大磯町の海岸沿いを歩き、町内全域の海藻の漂着状況を掌握し、6月以降は照ヶ崎海岸の海藻の状況を定点観察するようにした。また、7月、2月に採集した海藻の標本作製、10月には本ワークショップの活動をPRするため、海藻おしばづくりの体験講座を開催した。

(各回の活動内容)



月 日	内 容	月 日	内 容
4月28日	花水川から大磯港までの海藻観察	1月14日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
5月26日	照ヶ崎海岸から不動川河口までの海藻観察	1月26日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
6月30日	照ヶ崎海岸の海藻観察	2月11日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
7月28日	海藻おしばの製作	2月23日	海藻おしばの製作
10月29日	企画展『大磯町の海辺の自然』関連行事「楽しい海藻おしばづくり」の実施	3月8日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察
11月24日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	3月24日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察

(担 当) 高山・北水

<民俗フィールドワーク入門講座「石仏を見る・調べる・楽しむ」>

①「地域の石仏に見る民間信仰」

期 日／平成 23 年 6 月 12 日（日）
場 所／郷土資料館 研修室
講 師／加藤 隆志氏（相模原市立博物館学芸員）
参加人数／21 人

②「相模の道祖神とその行事」

期 日／平成 23 年 7 月 10 日（日）
場 所／郷土資料館 研修室
講 師／浜野 達也氏（平塚市博物館学芸員）
参加人数／20 人

③「大磯町の石仏分布と今後の活動について」

期 日／平成 23 年 8 月 7 日（日）
場 所／郷土資料館 研修室
講 師／当館学芸員
参加人数／13 人

④石仏調査実習

期 日／平成 23 年 11 月 5 日（土）・10 日（木）
場 所／大磯城山公園 他
参加人数／6 人

（内 容）参加者と資料館の協働を目指すワークショップとして開催した。近年、地域の歴史や文化遺産への関心が高まるなか、道端に祀られている身近な石仏について取り上げた。石仏造立の背景にある民意や信仰を探りながら、石仏の見方、調べ方、楽しみ方を学ぶとともに、あわせて他市博物館での石仏にかかわる市民参加活動を知る機会とした。なお、受講者のなかから「石仏クラブ」の参加者を募った。石仏クラブは地域資料の調査ボランティアとして位置づけ、自ら楽しみながら、町内外の石仏探訪や調査を企画実施し、地域の文化資源の発掘と伝承に寄与していくことを目指すもので、年間会員として組織し、年度を跨いで活動していくこととした。なお、調査技術を体得するための調査実習も実施した。

（担 当）佐川

<石仏クラブ>

期 日／平成 24 年 2 月 4 日（土）、3 月 3 日（土）
場 所／高来神社
参加人数／延 10 人

（内 容）民俗フィールドワーク入門講座修了者のなかから参加者を募って結成した。当町では、過去に石造物の悉皆調査を実施済みであり、その成果は大磯町文化財調査報告書（「石造物調査報告書」(1)～(7)、昭和 59 年～平成 7 年）として刊行されている。しかし、調査後、かなりの年月が経過しており、既に盗難、破損、移動、新設された石造物も少なくないことから、報告書をもとに所在調査を兼ねて町内石造物を訪ね、学び、楽しむ機会とし、そして、このことが地域の文化的資産としての石仏（石造物）について一層の関心を高め、保護保全への動機付けにつながることを期待して開催した。調査は、高麗地区から順次開始した。

（担 当）佐川



＜みんなで町の自然を調べよう ー夏の七草の分布しらべー＞

〔合同調査・調査のまとめ〕

期 日／平成23年4月16日(土)、5月14日(土)・28日(土)、6月11日(土)・25日(土)、7月9日(土)・12(火)・14日(木)・15日(金)・20日(水)

※平成23年5月28日(土)、6月11日(土)は雨天のため中止とした。

場 所／郷土資料館 研修室、大磯町内各所

参加人数／104人

(内 容) 昨年度実施した春の植物の分布調査に続き、本年度は夏の植物をテーマに調査を実施した。対象とした植物は調査参加者との話し合いのもと、夏季に当町でよく見られるウツギ属の植物(ウツギ、マルバウツギ、ヒメウツギ)、ミズキ属の植物(ミズキ、クマノミズキ)、ヒルガオ属の植物(ヒルガオ、コヒルガオ、ハマヒルガオ)と試験的に夏の七草を選定した。夏の七草という呼び名で7種の植物を選んだものはいくつかあるが、今回は昭和20年に日本学術振興会学術部・野生植物活用小委員会が選定した七草を対象とすることにし、過去の確認状況や時期的な同定の難易度を踏まえ、七草のうちのアカザ(シロザを含む)、イノコヅチ(ヒナタイノコヅチを含む)、スベリヒユ、シロツメクサ、ヒメジョオン、ツユクサの6種の分布状況を調べた。調査期間中、調査参加者間の情報の共有を目的に5月から7月の間に3回の合同調査を実施し、調査終了後には、調査者全員でデータの整理を行なった。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	場 所
4月16日	ガイダンス/勉強会(ヒルガオ属、ウツギ属、ミズキ属の学習)	郷土資料館 研修室
5月14日	合同調査	大磯町西小磯
5月28日	ー 雨天のため中止 ー	
6月11日	ー 雨天のため中止 ー	
6月25日	合同調査	大磯町大磯
7月9日	合同調査	大磯町東小磯、西小磯の海岸
7月12日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
7月14日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
7月15日	個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
7月20日	個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室

〔個別調査〕

調査期間／平成23年5月6日(立夏)～8月7日(立秋の前日)

場 所／大磯町内

活動内容／大磯町の地図を17分割し、それぞれの担当区域を決めた後、個別に対象区域を数回巡回し、記録を取った。

参加人数／30人

(担 当) 北水



■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

郷土資料館のWebサイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。
(月別アクセス数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	1,592	1,775	4,383	3,756	1,911	1,015	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	923	4,320	7,230	897	1,148	799	29,749

(担 当) 曾根田・山口

■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園 保育園	9月9日	苗・花ももん保育園(平塚市)遠足		
	10月20日	梅の木幼稚園(二宮町)遠足		
	10月27日	小磯幼稚園遠足		
	11月25日	まきば幼稚園遠足		
小学校	5月24日	国府小学校1年生遠足	5月17日	国府小学校4年生理科学習「春の自然」
	6月23日	大磯小学校3年生総合学習「大磯町探検」	6月23日	大磯小学校3年生総合学習「大磯のお祭り」
	10月20日	大磯小学校2年生遠足	7月12日	国府小学校4年生理科学習「夏の自然」
	10月28日	汐見台小学校(茅ヶ崎市)1、2年生遠足	10月18日	国府小学校4年生理科学習「秋の自然」
	11月2日	国府小学校4年生秋の遠足「善兵衛池について」	10月25日	大磯小学校2年生生活科学習「みんなでつくろうフェスティバル」
	11月17日	聖ステパノ学園小学校5年生総合学習(企画展見学)	12月13日	国府小学校3年生総合学習「国府ってどんな町(民俗)」
			1月26日	国府小学校3年生総合学習「国府ってどんな町(自然)」
		1月31日	聖ステパノ学園小学校3年生総合学習「大磯のお祭り」	
		2月14日	国府小学校4年生理科学習「冬の自然」	
中学校	12月7日	聖ステパノ学園中学校1、2年生特別活動(企画展見学)	12月14日	大磯中学校1年生総合学習「左義長」
	12月9日	聖ステパノ学園中学校3年生特別活動(企画展見学)		

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修(5月)
- ・総合学習に生かせる大磯の自然散策(8月)

<その他の活動>

- ・小学4年生から使用する理科副読本「大磯の自然—磯の生物編—」の作成（年間）
- ・学校新採用職員職場体験（7月、8月）
（担 当）佐川・北水・大石・曾根田・諏訪部

■ 他の博物館・生涯学習施設との連携

<自然史系博物館標本データ整備事業への参加>

自然史標本データベース神奈川委員会の参加館として、昆虫類1,000件、貝類1,000件のデータベースを整備し、データ提供を行なった。本データは国立科学博物館Webサイト内「サイエンスミュージアムネット」で検索、閲覧が可能である。

（担 当）北水

■ 緑のカーテン

東日本大震災後の福島原子力発電所事故による電力供給低下に備え、空調機や照明の使用制限を行なうとともに、節電対策として、展示ホールの窓に緑のカーテン（ゴーヤ）を育て日射遮蔽効果を狙った。ゴーヤの苗は、被災地支援の意味をこめて、職員の募金により、被災地の福島県南相馬市から購入。成長したゴーヤは、希望する来館者に配布した。

（担 当）山口・曾根田



■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・秋季企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—』図録
A4版40頁 800部（平成23年10月刊）
- ・『Report—大磯町郷土資料館だより』32
A4版 8頁 800部（平成24年3月刊）
- ・『年報—平成22年度—』
A4版42頁 400部（平成24年3月刊）

<チラシ・パンフレット>

- ・ミニ企画展『資料を遺す—近年の寄贈資料から』『資料に学ぶ—古文書に見る災害』『資料を伝える—古文書裏打ち』チラシ
A4版4頁コビ-対応（平成23年5月刊）
- ・学習参考資料展『みんなで調べた 今夏の大磯町の花』チラシ
A4版両面 3,000部（平成23年7月刊）
- ・常設展リーフレット『古代の大磯の海を知ろう』
A4版4頁 2,000部（平成23年9月刊）
- ・秋季企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—』チラシ
A4版両面 4,000部（平成23年10月刊）
- ・ミニ企画展『古文書あれこれ—收藏資料の紹介—』チラシ
A4版両面 コビ-対応（平成24年1月刊）
- ・企画展『春を彩る雛人形展』チラシ
A4版両面 4,000部（平成24年2月刊）

<その他>

- ・講座通信『木荔枝—大磯自然観察会通信—』
A4版2~4頁 コビ-対応（平成23年4,5,6,7,9月、平成24年1月刊）
- ・講座通信『海の森通信』 A4版2頁コビ-対応（平成23年4,5,6,7,8,11,12月、平成24年1,3月刊）

■ 調査、研究、普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（佐川、北水、大石、曾根田、山口、諏訪部、高山）
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館（佐川）
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」講義／4月22日、5月13日、6月10日、7月1日、8月11日、8月23日、10月6日、11月4日、12月9日、1月13日、2月10日、3月2日／教育研究所ほか（北水）
- ・桜美林大学博物館実習講義／5月9日ほか／桜美林大学（佐川）
- ・相模民俗学会総会、研究会出席／5月15日、3月18日／横浜市歴史博物館ほか（佐川）
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「春の自然」指導／5月17日／国府小学校（北水）
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義／5月17日／郷土資料館（北水）
- ・駒澤大学博物館学講座「博物館実習」講義／5月29日／郷土資料館（佐川）
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導／6月4日／照ヶ崎海岸（北水）
- ・伊勢原市文化財課主催歴史解説アドバイザー養成講座「民俗資料の見方」講義／6月8日／伊勢原市立大田公民館（佐川）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習「もっと知りたい！大きい町！～大きいその今むかし～」指導／6月23日／郷土資料館（佐川、北水、大石、曾根田、諏訪部）
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「夏の自然」指導／7月12日／国府小学校（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生特別活動「善兵衛池について」指導／10月27日／郷土資料館（佐川）
- ・平塚市環境政策課主催夏休み子ども環境教室「海編」指導／7月25日／平塚新港周辺（北水）
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／8月18日／照ヶ崎海岸（北水）
- ・神奈川県立歴史博物館主催特別展記念講演会「竹と民具一竹とともに暮らす」講義／10月15日／神奈川県立歴史博物館（佐川）
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「秋の自然」指導／10月18日／国府小学校（北水）
- ・大磯町立大磯小学校2年生生活科学習「みんなでつくろうフェスティバル」指導／10月25日／大磯小学校（佐川）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第37回全国（群馬）大会研修会司会参加／10月27日、10月28日／高崎市立中央図書館他（大石）
- ・大磯町観光協会主催郷園文化事業・大磯2011秋「初代総理大臣伊藤博文公ゆかりの大磯巡り」講義／11月11日、11月15日／郷土資料館（佐川）
- ・大東文化大学オープンカレッジ案内・講義／12月8日／町内、郷土資料館（佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習「国府ってどんな町（国府地区のお祭りと農業）」指導／12月13日／国府小学校（佐川）
- ・大磯町立大磯中学校1年生総合学習「左義長」指導／12月14日／大磯中学校（佐川）
- ・柏模原市立博物館「民俗調査会」案内・講義／1月11日／町内、郷土資料館（佐川）
- ・ミニデイサービス「虹の会」主催講座「大磯町の歴史と行事」講義／1月25日／大磯町役場国府支所（佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習「国府ってどんな町（国府地区の自然）」指導／1月26日（北水）
- ・聖ステパノ学園小学校3年生総合学習「大磯のお祭り」講義／1月31日／聖ステパノ学園（佐川）
- ・大磯町立国府小学校4年生理科学習「冬の世界」指導／1月31日、2月14日／国府小学校（北水）
- ・湘南史談会主催講座「江戸時代の宿場町と周辺村落の人馬継立について」講義／2月5日／大磯町立ふれあい会館（大石）
- ・大磯港みなとまちづくり協議会講演会「大磯港の今昔」、「大磯町の花の自然」講義／2月12日／大磯町保健センター（佐川、北水）
- ・東海大学博物館実習Ⅰ講義／2月14日／東海大学（佐川）
- ・東海大学観光学部「日本の無形文化財」講義／2月23日／郷土資料館（佐川）
- ・ガイドボランティア協会研修会講義「城山荘について」／2月24日／郷土資料館（佐川）

<施設・展示解説>

- ・河内あるく会/4月9日/10人(北水)
- ・湘南地区監査委員連合会/4月13日/13人(佐川・北水)
- ・わかやぎ会/9月16日/22人(佐川)
- ・綾瀬市・大磯町社会教育委員/10月30日/5人(北水)
- ・和笑路の会/11月29日/20人(山口・曾根田)
- ・静山会/11月23日/13人(山口・曾根田)
- ・中国大使館・横浜北日中友好交流会/12月3日/15人(山口)
- ・弥生クラブ/1月18日/15人(北水)
- ・足柄下郡社会教育委員連絡協議会/2月10日/23人(北水)

<執筆>

佐川和裕

2012. 3. 『澤田美喜』展を開催して『かけはし』第37号 エリザベス・サンダース・ホーム
3. 「秋季企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—をふりかえって』『Report—大磯町郷土資料館だより』32 大磯町郷土資料館

北水慶一

2012. 3. 「講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花～』及び企画展『みんなで調べた今年の大磯町の春花』の実施報告』『年報—平成22年度—』大磯町郷土資料館

大石三紗子

2011. 8. 「過去の災害による町の被害②」『広報おおいそ9月』 大磯町政策課
2011. 9. 「過去の災害による町の被害③」『広報おおいそ10月』 大磯町政策課
2011. 12. 「過去の災害による町の被害④」『広報おおいそ1月』 大磯町政策課
2012. 2. 「過去の災害による町の被害⑤」『広報おおいそ3月』 大磯町政策課
2012. 3. 「かながわ郷土史展望 学芸員ネットワーク 関東大震災で生活一変 助役と警察署の日誌から」『神奈川新聞(平成24年3月28日付)』神奈川新聞社

曾根田貴子

2011. 4. 「大磯の賢人 吉田茂 グルー大使と吉田茂」『広報おおいそ4月』 大磯町政策課
2011. 10. 秋季企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—』図録 大磯町郷土資料館

山口由紀子

2011. 10. 秋季企画展『澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—』図録 大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

平成23年度は6大学より7名の学生を受け入れた。実習期間は8月30日から9月10日の間(9月4日・5日を除く)及び7月28日(事前ガイダンス)、9月16日(課題等提出)の計12日間とした。

博物館実習は例年、1週目と2週目とでは作業内容を変えて実施している。実習1週目は民俗、自然、歴史各分野の作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2週目は常設展示室の展示替実習を行なった。展示替実習は実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「古代の大磯の海を知ろう」のタイトルで進めた。当町では化石が産出する地層が2つある。大磯層と二宮層であり、大磯層は今から約600～500万年前に堆積した地層で、二宮層は今から約50～40万年前に堆積した地層であると考えられている。2つの地層とも主な化石は貝類であり、各地層の貝化石と現代の貝標本を展示し、生息する生物相の移り変わりを概観した。特に本展では、化石を置く台や背景にこだわって、化石の印象が浮き立つような工夫を施した。来場者からは好評を得ており、長くガラスケース内の化石をのぞきこむ小学生の姿が度々見られる。

<実習生>

小宅 昭樹 (日本大学)、山田 優駿 (日本大学)、生沼 有妃 (関東学院大学)、
高橋 まり奈 (清泉女子大学)、松村 優 (駒澤大学)、片平 彩実 (東海大学)、
佐久間 卓也 (神奈川工科大学)

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7月28日	金		ガイダンス／館内見学
8月30日	火	講義 (資料館の活動概要)	町内施設・史蹟見学
8月31日	水	自然野外調査 (植物調査)	自然史標本整理 ／展示替実習打ち合わせ
9月1日	木	古文書整理	古文書整理 ／展示替実習打ち合わせ
9月2日	金	資料梱包	資料梱包／軸物の取り扱い ／展示替実習打ち合わせ
9月3日	土	古文書裏打クラブに参加	古文書裏打クラブに参加 ／展示替実習打ち合わせ
9月6日	火	展示替実習 (資料調査・資料選択・旧展示片付け)	
9月7日	水	展示替実習 (資料選択・写真撮影・原稿作成・ジオラマ作製)	
9月8日	木	展示替実習 (写真撮影・原稿作成・展示台作製・ジオラマ作製・キャプション作製)	
9月9日	金	展示替実習 (写真撮影・パネル作製・キャプション作製・リーフレット編集・展示台作製)	
9月10日	土	展示替実習 (パネル作製・リーフレット作製・展示台作製・列品・片付け・展示批評)	
9月16日	金		展示の修正



(担当) 北水・佐川・大石・曾根田・山口

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2011-0401	H23. 4. 15	脇差	2	岩田勇 大磯町大磯	1007	H23. 10. 20	写真集	4	二見光道 大磯町大磯
0402	H23. 4. 15	衣類 他	一括	木村純子 大磯町大磯	1102	H23. 11. 11	盃 他	一括	大磯町観光協会
0501	H23. 5. 6	キバチ 他	一括	谷久保清一郎 大磯町西小磯	1201	H23. 12. 4	書籍	1	高木東一 厚木市泉町
0502	H23. 5. 17	衣類 他	一括	木村純子 大磯町大磯	1202	H23. 12. 20	蜂の巣	1	後藤吉彦 大磯町東小磯
0601	H23. 6. 1	鯨尺・グタ 他	3	新見由美子 大磯町大磯	1203	H23. 12. 10	古写真・絵は がき 他	一括	二挺木恵 伊勢原市上粕谷
0602	H23. 6. 1	新聞・広告 他	10	石井清吾 大磯町東小磯	1204	H23. 12. 16	タビ	1組	西山敏夫 二宮町山西
0701	H23. 7. 2	衣服	一括	小澤清水 大磯町西小磯	1205	H23. 12. 17	テンピン	1	添田公一 大磯町因府本郷
0703	H23. 7. 13	衣服	一括	小澤清水 大磯町西小磯	2012-0201	H24. 2. 10	コピキノコ 他	2	吉川好敏 大磯町因府本郷
0704	H23. 7. 14	昆虫標本	18	木村純子 大磯町大磯	0202	H24. 2. 8	レコード 他	一括	原田優人 大磯町因府本郷
0705	H23. 7. 28	絵はがき	1	露木スエ 平塚市大神	0203	H24. 2. 10	古写真 他	一括	小林佳代子 大磯町大磯
0706	H23. 7. 30	コガタズズ メバチの巣	1	岩井喜久枝 大磯町西小磯	0204	H24. 2. 17	古写真 他	一括	小林佳代子 大磯町大磯
0801	H23. 8. 18	神棚 他	12	柳田照代 大磯町西小磯	0301	H24. 3. 14	雛人形	一式	川崎光代 平塚市見附町
0901	H23. 9. 3	掛軸 他	3	新見由美子 大磯町東小磯	0302	H24. 3. 14	古写真 他	一括	小林佳代子 大磯町大磯
0902	H23. 9. 9	書籍	2	飯田福信 大磯町大磯	0303	H24. 3. 24	日本万国博覧 会パノラマ 他	3	柳川正夫 平塚市金目
1002	H23. 10. 7	写真	1	宮代治吉 大磯町大磯	0304	H24. 3. 27	書幅 他	一括	井上益夫 大磯町因府本郷
1003	H23. 10. 7	衣類	5	木村純子 大磯町大磯	0305	H24. 3. 28	雛人形	一括	池田君子 二宮町二宮
1006	H23. 10. 12	古文書 他	一括	和田清治 東京都世田谷区					

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	
2011-0603	H23. 6. 1	レコード プレイヤー	1	環境美化 センター
0702	H23. 7. 2	色紙 他	4	大磯町政策課
1004	H23. 10. 12	吉田茂 関連資料	一括	大磯町政策課
1005	H23. 10. 12	吉田茂 関連資料	一括	大磯町政策課
1101	H23. 11. 1	計算機	1	大磯町 環境経済課



【移管資料】(財)吉田茂国際基金から
引き継いだ旧吉田茂邸園風景和食器

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2011-0503	H23. 5. 30	赤煉瓦	2	—	1001	H23. 10. 4	銭貨	1	—
0802	H23. 8. 23	土器	2	—					

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H22. 4. 1 ~ H24. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2010-0401	H22. 4. 1	菊池重三郎 関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0413	H22. 4. 1	随神 他	5	南本町区長
0402	H22. 4. 1	古文書	一括	後藤勲 大磯町月京	0414	H22. 4. 1	クロッカス ^{アーデン} 看板	1	浜田光雄 大磯町国府本郷
0403	H22. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0415	H22. 4. 1	日誌、雑誌類	10	小見滋夫 大磯町西小磯
0404	H22. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0416	H22. 4. 1	稲荷講資料	一括	戸塚浩 大磯町西小磯
0405	H22. 4. 1	四季耕作図 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0417	H22. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社
0406	H22. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0418	H22. 4. 1	扁額、壺	2	国府中学校
0407	H22. 4. 1	雛人形	一括	田川順三 横浜市緑区	0419	H22. 4. 1	伊藤博文書幅	1	大木伸男 茅野市嵐山下
0408	H22. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区長	0420	H22. 4. 1	屏風 (六曲半双)	1	大久保忠旦 千葉市花見川区
0409	H22. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0421	H22. 4. 1	一本松 稲荷 講中資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯
0410	H22. 4. 1	子供会旗 他	2	西小磯西子ども 会長	0425	H22. 4. 17	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩
0411	H22. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長	2011-0403	H23. 4. 28	永山光幹 関連資料	一式	永山サト子 大磯町西小磯
0412	H22. 4. 1	木造仁王像	2	慶覚院	0604	H23. 6. 29	掛軸	1	角田豪 茅ヶ崎市萩園

<資料整備資料>

木造神像保存処理委託 / 南光園美術研究所

動物剥製作製委託 (アカウミガメ 5体) / 南尼ヶ崎科学標本社



アカウミガメの剥製

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
イキョ、ハネ 他	5	撮影 / 刊行物掲載	H23. 4. 7	神奈川県立 歴史博物館	外観、館内展 示、実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生
絵はがき	11	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 4. 21	個人	外観、館内展 示、実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生
相模大磯全図 大磯明細全図	2	撮影 / 学習教材	H23. 4. 23	個人	海水浴関連 資料	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 31	個人
館内展示	—	撮影 / 個人的趣味	H23. 5. 15	個人	案内パンフレ ット掲載写真	4	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 9. 15	神奈川県立歴史博物館 引継ぎ係館長中野文志
海水浴場風景 写真	32	データ利用 / 展示	H23. 5. 18	大磯町 みなと推進室	錦絵	1	データ利用 / テレビ放送	H23. 9. 30	朝日テレ アックスオン
婚礼写真、 嫁入道具	6	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 5. 20	個人	松本順肖像写 真、錦絵	2	撮影 / テレビ放送	H23. 10. 4	黒ローリング
高麗寺祭写真	3	データ利用 / 映像作成	H23. 5. 25	大磯町 観光協会	伊藤博文写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 10. 4	大磯町 観光協会
絵はがき	3	撮影 / テレビ放送	H23. 6. 2	名古屋テレ ビ放送局	ボーリング調 査報告書	1	複写 / 参考資料	H23. 10. 5	個人
左義長写真	5	データ利用 / ホームページ掲載	H23. 6. 3	MAPANEX.net	サフラン看板	1	撮影 / 刊行物掲載	H23. 10. 10	大磯ガイドボラ ンティア協会
館内展示	—	撮影 / 個人的趣味	H23. 6. 11	個人	吉田茂写真	1	撮影 / テレビ放送	H23. 10. 12	NHK 制作局
馬場台遺跡資料	65	撮影、複写、実測 / 研究発表	H23. 6. 13	個人	海水浴場 ポスター	1	撮影 / 刊行物掲載	H23. 10. 21	榎眞夢
絵はがき	12	撮影 / 刊行物掲載	H23. 6. 23	横浜市 歴史博物館	左義長、 御船祭 写真	2	データ利用 / 展示	H23. 10. 21	大磯町 みなと推進室
錦絵	1	撮影 / 刊行物掲載	H23. 7. 3	開ロム・インタ ーナショナル	館内展示	—	撮影 / 研究発表	H23. 10. 23	個人
有形文化財写真	1	複写 / 刊行物掲載	H23. 7. 5	㈱エディターズ ズ・キャンパ	伊藤博文写真	1	データ利用 / 研究発表	H23. 10. 25	個人
絵はがき	2	データ利用 / テレビ放送	H23. 7. 13	㈱グループ 現代	松本順写真	1	撮影 / ホームページ掲載	H23. 11. 10	個人
七夕行事写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 7. 13	大磯町議会 だより編集委員会	澤田美喜資料	—	撮影 / 研究発表	H23. 11. 11	個人
外観	1	複写 / ホームページ掲載	H23. 7. 17	㈱ブループ ル	澤田美喜資料	—	撮影 / 新聞掲載	H23. 11. 15	神奈川新聞社
絵はがき	10	撮影 / 刊行物掲載	H23. 7. 18	個人	外観、 館内展示	—	撮影 / テレビ放送	H23. 11. 25	IBC㈱
吉田邸御庭園	—	撮影 / 復元工事に活用	H23. 7. 27	平塚土木 事務所	企画展示	—	撮影 / 刊行物掲載	H23. 11. 29	個人
昭和の生活用品	4	撮影 / 刊行物掲載	H23. 8. 5	大磯町 教育研究所	錦絵、海水浴 場ポスター	3	撮影 / テレビ放送	H23. 11. 30	テレビ朝日 映像科
錦絵	1	撮影 / 刊行物掲載	H23. 8. 5	南吉川弘文館	海水浴場写真	4	データ利用 / 研究発表	H23. 12. 2	神奈川県水産技術 センター横浜支所
古写真	1	複写 / 刊行物掲載	H23. 8. 8	㈱ハユマ	館内展示	—	撮影 / 社会貢献に利用	H23. 12. 2	聖ステパノ学園
島崎藤村写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 8. 29	大磯町 観光推進室	絵はがき	4	データ利用 / テレビ放送	H23. 12. 13	NHK エンター プライズ
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生	絵はがき	5	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 12. 14	かながわ海 岸美化財団
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生	御船祭写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H23. 12. 27	大磯町議会 だより編集委員会
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生	館内展示	—	撮影 / 研究発表	H24. 1. 5	個人
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生	吉田茂写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H24. 1. 12	大磯ガイドボラ ンティア協会
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 / 研究発表	H23. 8. 30	博物館実習生	錦絵	1	複写 / 刊行物掲載	H24. 1. 13	㈱ハユマ

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
絵はがき	23	複写 / 刊行物掲載	H24.1.13	平塚市花水公民館	館内展示	—	撮影 / 個人的趣味	H24.3.4	個人
高麗村絵図 館内展示	—	撮影 / 研究発表	H24.1.24	個人	海水浴場関連 資料	2	撮影 / テレビ放送	H24.3.6	日本テレビ
絵はがき	3	データ利用 / 刊行物掲載	H24.1.27	個人	雛人形	—	撮影 / 個人的趣味	H24.3.7	個人
錦絵	1	複写 / 刊行物掲載	H24.1.27	柿ハユマ	絵はがき	1	データ利用 / テレビ放送	H24.3.9	テレビ大阪 東京制作部
吉田茂旧宅写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H24.1.31	神奈川県 教育委員会	絵はがき	14	データ利用 / 研究発表	H24.3.16	個人
館内展示	—	撮影 / テレビ掲載	H24.2.21	大磯町 観光協会	横穴墓模型	1	撮影 / 個人的趣味	H24.3.21	個人
雛人形	一 括	撮影 / 個人的趣味	H24.2.28	個人	絵はがき	3	データ利用 / 研究発表	H24.3.24	個人
東の池、西の池 写真	2	撮影 / 刊行物掲載	H24.2.28	大磯町教育委員 会子ども育成課	伊藤博文関連 資料	5	撮影 / 参考資料	H24.3.25	伊藤公資料館
雛人形	—	撮影 / テレビ掲載	H24.3.2	個人	小島本陣資料	28	撮影 / 研究発表	H24.3.28	個人

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
海水浴場 関連資料	7	展示	H23.4.1 ～ 7.29	㈱ブルーブル	中丸のセート パライ映像	3	無形文化財 調査	H23.10.28 ～ 11.14	個人
池田農園写真	2	講座資料	H23.4.23 ～ 4.24	個人	ボーリング データ 他	4	理科授業	H23.11.2 ～ 11.22	大磯小学校
池田農園写真	2	講座資料	H23.5.27 ～ 5.27	個人	城山遺跡 出土縄文土器	10	美術学習	H23.11.30 ～ H24.3.31	個人
絵はがき	187	展示	H23.6.23 ～ 9.30	横浜市 歴史博物館	中丸のセート パライ映像	3	行事参考	H23.12.28 ～ H24.1.10	中央町内会
ボーリング データ	2	グラウンド改修 工事の参考資料	H23.6.30 ～ 7.12	大磯町教育委員 会子ども育成課	中丸のセート パライ映像	2	無形文化財 調査	H24.1.14 ～ 1.22	個人
民具	5	展示	H23.8.23 ～ 11.18	神奈川県立 歴史博物館	特別展・ 企画展図録	12	資料調査	H24.2.8 ～ 2.26	個人
大磯小学校遺跡 写真	2	刊行物掲載	H23.10.12 ～ 11.1	大磯町教育委員 会子ども育成課	伊藤公 関連資料	一式	祭事	H24.3.3 ～ 3.4	個人
坂田山南横穴墓 群出土遺物	3	資料保存処理	H23.10.17 ～ H24.3.16	藤東都文化財 保存研究所					

<備品の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
スクリーン	1	自治会総会	H23.4.16 ～ 4.19	石神台 自治会	プロジェクター	1	講座	H24.1.21	大磯ガイドボラ ンティア協会
プロジェクター 他	一式	講座	H23.4.23	大磯ガイドボラ ンティア協会	プロジェクター	1	講座	H24.1.28	大磯ガイドボラ ンティア協会
プロジェクター、 スクリーン他	3	講座	H23.7.26 ～ 7.27	大磯町 生涯学習課	プロジェクター	1	講座	H24.2.4	大磯ガイドボラ ンティア協会
プロジェクター、 スクリーン	2	研修会	H23.10.10	親子の会	プロジェクター	1	講座	H24.2.11	大磯ガイドボラ ンティア協会
プロジェクター	1	説明会	H23.12.15 ～ 12.20	大磯町 政策課	プロジェクター	1	研修会	H24.3.3	大磯ガイドボラ ンティア協会

<寄贈受入図書>

出版地	寄 贈 者	書 名	発行日	
大磯町	星槎大学	小さな芸術展：自然との共生	2010/5	
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化生涯学習課	ヒストリアちがさき 第3号	2011/3	
		演習場チガサキ・ビーチ	2011/3	
		文化資料館調査報告書 20	2011/3	
藤沢市	新江ノ島水族館	江ノ島水族館資料 No.13 (1994-2003)	2011/11	
	藤沢市教育委員会	大地に刻まれた藤沢の歴史 3	2011/2	
		藤沢市文化財調査報告書 第46集	2011/3	
	藤沢市教育文化センター	藤沢の島	2011/7	
	藤沢市博物館建設準備担当	藤沢市指定重要文化財日福原家長屋門移築保存修理工事報告書	2010/1	
	藤沢市文書館	藤沢市史研究 第42号	2009/3	
		藤沢市史研究 第43号	2010/3	
藤沢市史研究 第44号	2011/3			
平塚市	平塚市教育委員会	登録有形文化財日横浜ゴム平塚製造所記念館解体調査報告書及び移築・復元工事報告書	2011/3	
		北金目塚越遺跡第3地点発掘調査報告書 1	2011/3	
		北金目塚越遺跡第3地点発掘調査報告書 2	2011/3	
	平塚市真田・北金目遺跡調査会	六ノ城：南原B：平成19・20年度市内遺跡緊急調査報告	2011/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 9 (53A-C、54A、57A-H、58A-D区) 第1分冊	2012/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 9 (53A-C、54A、57A-H、58A-D区) 第2分冊	2012/3	
	平塚市博物館	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 9 (53A-C、54A、57A-H、58A-D区) 第3分冊	2012/3	
		いつもとちがう散歩道：まちかどの自然観察：2011年度夏期特別展図録	2011/7	
		深海から生まれた湘南：春期特別展展示解説書	2011/3	
		星々のみらびき：大雄山参道二十八宿灯：平成23年度冬期特別展図録	2011/11	
平塚市史 10	2011/3			
寒川町	寒川文書館	寒川文書館年報 第4号(平成22年度)	2011/9	
二宮町	徳富蘇峰記念館	徳富蘇峰記念館目録 28	2011/2	
栗野市	栗野地学研究会	丹沢山地の岩石：丹沢の川を訪ねて	2011/6	
小田原市	小田原市郷土文化館	「飛鳥時代の斑鳩と小田原」展示図録：平成23年度斑鳩町・小田原市交流展	2012/2	
		小田原市郷土文化館研究報告 No.45	2009/3	
		小田原市郷土文化館研究報告 No.46	2010/3	
	小田原城天守閣	小田原市郷土文化館研究報告 No.47	2011/3	
		都市おだわらの創生：小田原市創七〇周年記念特別展	2011/2	
		野崎幻庵と小田原：特別展没後七〇年	2011/11	
		小田原城甲冑展 戦国から近世の甲冑：小田原城天守閣特別展	2011/6	
		神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第15号(2009年度)	2011/2
		神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第16号(2010年度)	2011/11	
		神奈川県立博物館研究報告 自然科学 40号	2011/3	
神奈川県立博物館研究報告 自然科学 41号	2012/3			
神奈川県立自然誌資料 32	2011/3			
神奈川県立自然誌資料 33	2012/3			
水生昆虫大百科：2011年度特別展「およげ!ゲンゴロウくん～水辺に生きる虫たち～」展示解説書	2011/8			
葉山一嶺間構造帯の地球科学的研究 = Geological study of the Hayama-Mineoka tectonic belt.	2012/2			
中井町	江戸民具街道	絵で見る江戸の道具たち	2011/11	
山北町	山北町教育委員会	足柄乃文化 第38号	2011/3	
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立古文書資料所在目録 第27集	2010/3	
		神奈川県立公文書館年報 平成22年度	2011/6	
		神奈川県立古文書資料所在目録 第28集	2011/3	
		稲荷台地遺跡群唐池(いなりだいちいせきぐんからいけ) 遺跡第2地点	2011/3	
		下布田遺跡：第98地点(共同住宅・宅地造成工事)の調査	2010/10	
久末谷遺跡	2012/3			
小田原城下筋違橋町(おだわらじょうかすじかいばしちょう) 遺跡第IV地点	2011/3			
上溝甲七号遺跡第3地点発掘調査報告書	2011/3			

出版地	寄贈者	書名	発行日
		上飯田天神山古墳	2010/6
		上浜田遺跡第6次調査	2011/3
		上野遺跡第2次調査	2010/9
		青葉区No. 105遺跡	2011/3
		長後上ノ原遺跡第3地点	2011/3
		本郷中谷津遺跡第16次調査	2011/3
		瀬郷大向遺跡第2地点	2011/3
横浜市立金沢動物園		金沢動物園30周年記念誌：愛されてありがとうおかげさまで30サイ	2012/2
玉川文化財研究所		上作延横穴墓群第2次調査発掘調査報告書	2007/6
		石原谷戸やぐら	2012/3
		宅間谷西やぐら群	2012/3
		宅間谷西やぐら群 2	2012/3
		平六ヶ入やぐら群 3	2012/3
横浜みなと博物館		歌・映画・小説のなかの横浜港：企画展	2010/10
		憧れのクルーズ：企画展	2011/10
神奈川県立図書館		郷土神奈川 第50号	2012/2
JICA横浜 海外移住資料館		JICA横浜海外移住資料館館報 平成22年度	2011/6
		JICA横浜海外移住資料館研究紀要 5 (平成22年度)	2011/3
シルク博物館		三浦景生展：ヨコハマ染陶曆程	2011/5
横浜市教育委員会		横浜の文化財：横浜市文化財総合調査概報 22	2011/3
横浜都市発展記念館		横浜都市発展記念館紀要 第7号	2011/3
		昭和の東海道：「六大都市」をめぐる。	2011/4
神奈川近代文学館 (神奈川文学振興財団)		神奈川近代文学館年報 2010年 (平成22年) 度	2011/7
神奈川県		「吉田茂と大磯の歴史的魅力を考える」シンポジウム記録誌	2011/3
神奈川県教育委員会		近現代と神奈川	2012/3
		中地区の社会教育	2011/7
神奈川県博物館協会		神奈川県博物館協会加盟館職員名簿 2011	2011/9
神奈川県立歴史博物館		ワグマンが見た海：洋の東西を結んだ画家	2011
		神奈川県立博物館研究報告 人文科学 第37号	2011/3
		竹と民具：竹とともに暮らす：特別展	2011/9
		總持寺名宝一〇〇選：御移転一〇〇年記念：曹洞宗大本山	2011/4
馬の博物館 (馬事文化財団)		ススメ!小田原北条氏：企画展	2011/10
横浜市歴史博物館		神田日勝：北の大地から：馬と歩んだ産業：特別展	2011/9
		横浜市歴史博物館紀要 第15号	2011/3
		横浜市歴史博物館資料目録 第19集	2011/3
		横浜市歴史博物館調査研究報告 第6号	2010/3
		横浜市歴史博物館調査研究報告 第7号	2011/3
		海にできた新田	2010/9
		近世横浜海岸部の新田開発：横浜市歴史博物館企画展	2010/9
		古墳時代の生活革命：5世紀後半・矢崎山遺跡：横浜市歴史博物館企画展	2010/6
		寺社参詣・物見遊山：横浜・神奈川の名所	2011/6
		大紙芝居展：よみがえる昭和の街頭文化	2010/7
		大昔のムラを掘る：三殿台遺跡発掘50年	2011/4
		都筑区茅ヶ崎城跡と謎のウズマキかわらけ：平成二十二年度企画展「ウズマキかわらけの謎を解く-都筑区・茅ヶ崎城跡と南関東の中世城館」展覧会図録	2011/1
		風景を伝える、持ち帰る：絵はがきあれこれ	2011/7
かながわ考古学財団		三ノ宮・下木津根遺跡 2	2012/3
		山野根横穴群 (V群)	2012/3
		社家宇治山遺跡 第1分冊	2011/5
		社家宇治山遺跡 第2分冊	2011/5
		社家宇治山遺跡 第3分冊	2011/5
		社家宇治山遺跡 第4分冊	2011/5
		社家宇治山遺跡 第5分冊	2011/5
		渋沢奈良郷遺跡第Ⅱ地点	2012/3
		成田上耕地遺跡第1地点・成田諏訪遺跡第1地点	2011/3
		跡堀遺跡 2	2011/5
		池端・坂戸遺跡	2012/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
		朝比奈町やぐら群 2	2012/2
		天神谷戸遺跡 2	2012/3
		独園寺やぐら群	2012/3
		年報 18 (平成22年度)	2012/1
		発掘された横浜外国人居留地：平成二十三年度公開セミナー発表趣旨	2012/1
		発掘調査成果発表会：発表要旨 平成23年度	2011/9
		仏向貝塚：仏向遺跡：仏向町遺跡	2012/3
		用田大河内遺跡 2	2012/2
	神奈川県埋蔵文化財センター	神奈川県埋蔵文化財センター年報 23	2011/6
		神奈川県埋蔵文化財調査報告 56	2011/2
	横浜植物会	横浜植物会年報 第40号	[2011]
	神奈川県立神奈川総合高等学校	研究紀要：授業実践記録・別冊、平成21(2009)年度臨時増刊	2010/3
川崎市	川崎市立日本民家園	旧井岡家住宅：附奈良県奈良市高畑町井岡家民俗調査報告	2012/1
		旧岩澤家住宅：附神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷岩澤家民俗調査報告：資料「岩澤家日記抄録」	2011/7
	川崎市市民ミュージアム	ニヶ領用水ものがたり：ニヶ領用水竣工400年記念：子ども用パンフレット	2011/7
		ニヶ領用水ものがたり：ニヶ領用水竣工400年記念：図録	2011/7
	有明文化財研究所	遠藤西谷遺跡 2	2012/1
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財：平成20年度・21年度発掘調査の概要 14	2011/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 27 第1分冊	2011/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 27 第2分冊	2011/3
		国指定史跡永福寺跡：国指定史跡永福寺跡史跡整備事業に係る発掘調査報告書 平成19年度	2011/3
	鎌倉文化研究会	鎌倉 111号	2011/7
		鎌倉 112号	2012/1
	斉藤建設	下ヶ町遺跡 (no. 184) 発掘調査報告書：茅ヶ崎市田蔵字下ヶ町2481-1外地点	2007/8
		鶴沼下ノ沢遺跡発掘調査報告書 第3次調査	2011/4
		小和田池袋A遺跡：第1次調査発掘調査報告書	2011/3
		松林網久保A遺跡：第7次調査発掘調査報告書	2011/9
		西御門遺跡発掘調査報告書：西御門一丁目6番1の一部地点	2011/9
横須賀市	横須賀市教育委員会	横須賀市文化財調査報告書 第48集	2011/3
	横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館研究報告 自然科学 第58号	2011/3
		横須賀市博物館研究報告 人文科学 第55号	2010/12
		横須賀市博物館資料集 第35号	2011/2
		横須賀市博物館報 No. 57	2011/2
		横須賀美術館年報 平成21年度版 (2009. 4. 1-2010. 3. 31)	2011/1
		横須賀美術館年報 平成22年度版 (2010. 4. 1-2011. 3. 31)	2012/1
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成21年度	2011/1
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成22年度	2012/1
逗子市	逗子市教育委員会	神奈川県逗子市埋蔵文化財緊急調査報告書 7 (平成20年度・平成21年度)	2011/3
三浦市	三浦市教育委員会	遺跡試掘調査 平成20年度 (平成20年度市内遺跡発掘調査報告書)	2011/3
葉山町	葉山しおさい博物館	三浦半島磯の生物	2011/3
		潮騒だより No. 22	2011/3
愛川町	愛川町教育委員会	愛川の文化財	2003/3
海老名市	ブラフマン	大谷吉久保 (おおやよしくぼ) 遺跡第2次調査：海老名市大谷南三丁目4803-31ほかにおける埋蔵文化財発掘調査報告書	2010/12
		柳久保遺跡 (やなぎくぼいせき)・岡崎城跡 (おかざきじょうせき) A第4地点：平塚市岡崎字王御住5861他における埋蔵文化財発掘調査報告書	2011/3
相模原市	相模原市教育委員会	苦久保遺跡第3地点	2011/3
		国指定史跡田名向原遺跡保存整備報告書	2009/3
		上溝4丁目彼岸沢第3地点遺跡発掘調査報告書	2007/4
		相模原市文化財年報 平成23年	2011/8
		中野東大沢遺跡	2011/4
	相模原市立博物館	相模原市史 現代通史編	2011/3
		相模原市史ノート 第8号	2011/3
		津久井町史 資料編 近世 2	2011/3
		当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	2011/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
大和市	大和市教育委員会	大和の衣 (ころも)	2011/3
厚木市	国際文化財株式会社	戸室ヶヶ園遺跡第2地点発掘調査報告書	2011/9
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館報 第5号	2011/3
		収蔵資料展くらしの道具	2011
	小美玉市立玉里史料館 上高津貝塚 ふるさと 歴史の広場	小美玉市史料館報 第5号	2011/3
		ムラの風景くらしの足跡：霞ヶ浦周辺の古墳時代集落	2011/3
		浅間塚西遺跡・房谷遺跡・内出後遺跡 (第1次調査)	2011/3
		土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第16号 (平成21年度)	2011/2
栃木県	小山市立博物館	故小野塚イツ子氏遺贈品展：小野塚イツ子記念館開館記念第10回収蔵展	2011/4
		戦国の装い：伊澤昭二甲冑コレクションの世界：第57回企画展	2011/6
		武士の美意識：変わり兜と変わり具足：第58回企画展	2011/9
	日本窯業史研究所	久本桃之園遺跡第3地点 長後宿上分遺跡 第3次調査 天神前遺跡第16地点	2011/7 2012/1 2012/2
群馬県	渋川市教育委員会 文化財保護課	渋川市市内遺跡 4	2011/3
		渋川市小野上地区埋蔵文化財分布地図：市内遺跡詳細分布調査報告書	2011/3
		渋川市文化財年報 平成21年度	2011/3
		紀要 11号	2011/3
埼玉県	埼玉県立川の博物館 三芳町教育委員会 生涯学習課	中東遺跡第2地点・第3地点：倉庫増築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2011/3
	富士見市立難波田城資料館	世界一の砲丸職人：辻谷政久氏のものづくり：平成24年春季企画展	2012/3
	税務大学校税務情報 センター	酒税関係史料集 2	2010/7
		租税史料年報 平成21年度版	2010/7
千葉県	館山市立博物館	かつこ舞：安房の雨乞い：平成22年度特別展	2011/1
	国立歴史民俗博物館	紅板縮め：江戸から明治のランジェリー：企画展示	2011/7
		風景の記録：写真資料を考える：企画展示	2011/11
		和宮ゆかりの雛かさざり	2011/2
	市立市川歴史博物館	市立市川歴史博物館館報 平成21年度	2011/3
	松戸市立博物館	松戸市立博物館年報 18号 (平成22年度)	2011/8
	千葉市立加曾利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第38号	2011/3
	千葉県立中央博物館	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学 第12巻1号 (通巻24)	2011/2
	船橋市飛ノ台史跡公園 博物館	ふなばしのお宝展：パンフレット 平成22年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館 開館10周年記念企画展《第2部》	2011/1
		飛ノ台史跡公園博物館紀要 第8号	2011/3
	NPO法人佐倉一里塚	佐倉順天堂見ミニガイド	2011/11
東京都	外務省外交史料館	外交史料館報 第24号	2011/3
	慶應義塾大学文学部 民族考古学研究室	日吉台遺跡群嶺谷地区 (ひよしだいいせきぐんまむしだにちく) 発掘調査報 告書：航空本部等地下壕出入口関連遺構の調査	2011/5
	港区立港郷土資料館	愛宕山：江戸から東京へ：平成二十三年度港区立港郷土資料館特別展	2011/10
		研究紀要 13 (平成22年度)	2011/3
		港郷土資料館館報 29 (平成22年度版)	2011/3
		港区指定文化財 平成22年度	[2011/3]
	文化環境研究所	Cultivate No. 38	2011/12
	日本ユネスコ協会連盟	世界遺産年報：the world heritage 2012 (No.17)	2012/1
	テイケイトレード株式会社 社埋蔵文化財事業部	北金目塚遺跡：第5地点	2011/6
	杉並区立郷土博物館	準常設展「杉並文学館-井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士-」・特集「石井桃子-子ども と本との幸せな出会いを求めて-」展示解説書	2011/6
	世田谷区教育委員会 次大夫堀公園民家園 科学技術振興機構	守り伝える囃子・神楽：平成23年度次大夫堀公園民家園企画展	2011/11
	Science window：科学するところを開く Vol.5 No. 3 (41)	2011/8	
	Science window：科学するところを開く Vol.5 No. 5 (43)	2011/11	
憲政記念館	大正デモクラシー期の政治特別展	2011/11	
昭和館	昭和のくらし研究 9号	2011/3	
	昭和の紙芝居：戦中・戦後の娯楽と教育：昭和館特別企画展展示図録	2012/3	
	昭和館館報 12号 (平成22年度)	2011/10	

出版地	寄贈者	書名	発行日
	日本学術振興会	科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research 2010 Vol.4	[2011/3]
		科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research 2011 Vol.1	[2011/6]
		科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research 2011 Vol.2	[2011/8]
		科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research 2011 Vol.3	[2011/12]
		科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research 2011-12 Vol.4	[2012/3]
	日本博物館協会	生涯学習施策に関する調査研究博物館倫理規程に関する調査研究報告書	2011/3
	明治大学学芸員養成課程	"Museum study : Bulletin of the Course for Prospective Museum Workers, Meiji University" 22 (2010年度)	[2011/3]
		Museologist : 明治大学学芸員養成課程年報 26 (2010年度)	2011/3
	多摩市文化振興財団 バルテノン多摩	維新風雲回顧展 : 最後の志士・田中光顕が遺した「語り」と「遺墨」 : パルテノン多摩歴史ミュージアム・多摩市教育委員会共同企画展展示図録	2011/1
		開発を見つめた石仏たち : 多摩ニュータウン開発と石仏の移動 : 多摩市教育委員会&バルテノン多摩共同企画展	2011/9
		航空斜写真で見える多摩ニュータウン : パルテノン多摩収蔵写真資料集	2011/3
		暮末任侠伝 : 一ノ宮万平とその時代 パルテノン多摩歴史ミュージアム企画展	2011/4
	国立科学博物館	Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.4 No.3 (21)	2011/5
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.4 No.4 (22)	2011/7
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.4 No.5 (23)	2011/9
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.4 No.6 (24)	2011/11
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.1 (25)	2012/1
		Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol.5 No.2 (26)	2012/3
	大田区立郷土博物館	冬のぬくもり、エコ暖房湯たんぼ	2011/10
	伝統文化活性化国民協会	伝統文化 No.41 (平成23年・秋)	2011/9
	玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館報 9号 2010年度	2011/8
		玉川大学教育博物館紀要 8号	2011/3
	町田市立自由民権資料館	「御進発御供日記」1	2011/3
		原町田村武藤(日向武藤)家文書目録	2010/3
		自由民権 : 町田市立自由民権資料館紀要 24	2011/3
	町田市立博物館	明治の学び舎 : 地域における学びと教への足跡をたずねて	2011/3
	町田市教育委員会	重要文化財財田永井家住宅修理工事報告書	2012/3
	東京家政学院	刺繍の世界 : 刺繍作家 板垣文恵先生作品展 : 第23回特別展	2011/10
	生活文化博物館	歴史民俗研究 : 櫻井徳太郎賞受賞論集 第8輯	2011/3
	板橋区教育委員会	当世具足 : 大名とその家臣団の備え	2012/2
	板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館紀要 18号 (2011)	2011/3
	船の科学館 (日本海事振興財団)	につぼんの海	2011/6
	品川区立品川歴史館	品川御台場 : 幕末期江戸湾防備の拠点 : 平成23年度特別展	2011/1
	府中市郷土の森博物館	アウトローたちの江戸時代 : 19世紀の府中の世相	2011/4
		府中市郷土の森博物館紀要 第25号 (2012年)	2012/3
	福生市郷土資料室	石川彌八郎家(石川酒造)文書目録	2010/10
		武州下原刀展 : 特別展 2	2010/10
	お茶の水女子大学 学芸 員課程委員会	博物館実習報告 第26号 (2010年度)	2011/1
	東京都江戸東京博物館	勝海舟関係資料海舟日記 5	2011/3
		両国地域の歴史と文化	2011/3
	NPOメコン・ウォッチ	フォーラムMekong : メコン河流域の開発、生活、自然、援助を考える Vol.9 No.3	2008/9
		森の再生、言葉の再生 : 生物・文化多様性の回復を目指すタイ・チョン族の挑戦	2011/9
	舵社	ボート倶楽部 13巻8号 (150)	2011/8
	慶應大学出版部	新編虎が雨	2011/6
	関東民具研究会	相模・武蔵の大山信仰	2011/9
	大成エンジニアリング	大島下台遺跡第4地点.	2012/1
	東日本鉄道文化財団	日本の観光黎明期 : 山へ!海へ!鉄道で	[2011/8]

出版地	寄贈者	書名	発行日
	新人物往来社マイブック 編集部	古代の地形から『記紀』の謎を解く	2011/11
北海道	北海道開拓の村	一般財団法人北海道開拓の村 年報 平成22年度 北海道開拓の村研究紀要 3	2011/6 2010/3
	財団法人アイヌ文化振 興・研究推進機構	アイヌ：美を求める心	2010/7
青森県	青森県立郷土館	青森県立郷土館報 38号 (2011年度)	2011/5
岩手県	牛の博物館	世界の牛貨展：財産からコインへ：牛の博物館第20回企画展 土に住む竜：モグラ：家族で楽しむ企画展2012	2011/7 2011/12
福島県	奥会津博物館	奥会津博物館収蔵資料目録 第2集	2011/10
新潟県	十日町市博物館	縄文のKazari：顔を飾る縄文人	2011/7
長野県	茅野市教育委員会	市内遺跡 5：平成21・22年度埋蔵文化財発掘調査報告書	2011/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市博物館紀要 35	2011/3
		沼津市歴史民俗資料館資料集 26	2011/3
	焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 25 (平成22年度)	2012/2
	静岡市立登呂博物館	トロペーのころはガイド：静岡市立登呂博物館ガイドマップ	2011/3
愛知県	安城市歴史博物館	安城市歴史博物館研究紀要 No. 18 汽笛一聲 (きてきいっせい)・安城駅120年：企画展 戦時下でできた明治航空基地：企画展 村絵図：平成23年度ミュージアム・スポット 2 藤井松平家：安城ゆかりの大名：特別展 年報 第20号 (平成22年度) 百年前の絵はがき：収蔵品展：平成23年度ミュージアム・スポット	2011/3 2011/5 2011/7 2011/9 2012/2 2011/8 2011/3
	一宮市尾西歴史民俗資料館	起宿のくらし：特別展 江戸時代の旅：特別展	2011/2 2011/10
	知上市教育委員会	新編知上市史 5	2011/3
	豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館年報 第23号 平成22年度	2011/6
	豊橋市二川宿本陣資料館	絵図から地区へ：移り変わる豊橋の風景 三河・遠江の城郭展 棟方志功の東海道五十三次展 二川宿本陣宿帳 3 歴史の道姫街道展	[2011] 2010/7 2011/7 2011/3 2011/10
三重県	鈴鹿市考古博物館	アンデスの彩り：古代南米土器の世界：平成22年度企画展 須恵器：自然軸の妙：企画展 土の中に眠っていたほとけさま：平成22年度特別展 発掘された鈴鹿：速報展 2010 鈴鹿市考古博物館年報 第11号 (平成20年度版) 鈴鹿市考古博物館年報 第12号 (平成21年度版)	[2011] [2010] [2010] [2011] 2009/12 2010/10
大阪府	大阪市立自然史博物館	化石でたどる生命の歴史：第42回特別展「来て!見て!感激!大化石展」 解説書 生き物のくらし：第5展示室 大阪市立自然史博物館館報 35 (平成21年度) 大阪市立自然史博物館館報 36 (平成22年度) 大阪市立自然史博物館研究報告 第65号 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 = Specimen list of coleoptera in the insect collection of the Osaka Museum of Natural History. 1	2011/7 2011/3 2011/3 2011/1 2011/3 2011/3
	富田林市教育委員会	富田林市内遺跡群発掘調査報告書 平成22年度	2011/3
兵庫県	たつの市立龍野歴史 文化資料館	龍野城物語	2011/10
和歌山県	和歌山県立自然博物館	うなQ：ウナギの不思議：第29回特別展解説書。 和歌山県立自然博物館館報 第29号	2011/7 2011/12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報 第10号 (2010)	2011/8

<受入機関誌・広報誌>

出版地	発行者	誌名	巻号	発行年月
大磯町	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎	7-10	2011/5.8.11, 2012/2
	エリザベス・サンダース・ホーム	かはし	37	2012/3
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	ちがさきの石仏	15	2011/5
茅野市	野生動物救護の会	Runner	10-12	2011/4.9.12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	10	2011/9
小田原市	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	65-68	2011/6.9.12, 2012/3
真鶴町	真鶴町立中川一政美術館	美術館だより	19	2011/3
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	丹沢湖ビジターセンターだより	21-23	2011/6.9.12
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	25-27	2011/3.11, 2012/2
	神奈川県自然観察指導員連絡会事務局	自然観察	356-367	2011/4-2012/3
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス	125-130	2011/4.7.9.11
	神奈川県立近代文学館	神奈川県立近代文学館	112-115	2011/4.7.10.12
	神奈川県教育委員会	民芸芸能情報提供	1-3月, 7-9月	[2011/7.12]
	神奈川県博物館協会	Network	32	2011/9
		神奈川県立歴史博物館だより	187-189	2011/5.8.12
	日本新聞博物館	ニュースパークだより	49, 50, 52	2011/4.7.2012/1
	横浜歴史博物館	横浜歴史博物館news	30, 31	2011/3.9
	かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖	15, 16	2011/8.12
川崎市	川崎市立日本民家園	日本民家園だより	75, 76	2011/7.2012/1
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	113, 114	2011/6.2012/1
横須賀市	横須賀美術館	Corridart	7, 9	2011/3.2012/2
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	484-494	2011/4-2012/3
厚木市	厚木市教育委員会	厚木市史だより	2, 3	2011/7.10
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	52, 53	2011/3.9
埼玉県	埼玉県立川の博物館	かわはく	39-41	2010/11, 2011/3.7
千葉県	館山市立博物館	ミュージアム発見伝	85	2011/6
	船橋市 飛ノ台史跡公園博物館	縄文多空間スペース	32-34	2010/7.12, 2011/3
		港郷土資料館だより	66-68	2010/9, 2011/3.9
東京都	港区立港郷土資料館	港郷土資料館へ行ってみよう!	8	2011/3
	靖国神社遊就館	靖国	669-680	2011/4-2012/3
	多摩市文化振興財団	バルテノン多摩 MUSEUM NEWS	17-20	2011/3.5.7.11
	台東区立下町風俗資料館	下町風俗資料館號外	8/1, 3/1	2011/8, 2012/3
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	36, 37	2011/2.10
	東京家政大学博物館	館報	54-56	2010/10, 2011/5.9
	府中市郷土の森博物館	あるむせお	96-99	2011/6.9.12, 2012/3
	お礼と切手の博物館	お礼と切手の博物館ニュース	29	2011/12
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news	73-76	2011/3.6.9.12
	学習院大学学芸員資格取得事務局	学芸員	15	2011/10
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	36-38	2011/3.7.2012/2
山梨県	環境庁自然保護局生物多様性センター	生物多様性センターニュースレター	30, 31	2011/3.7
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	130-132	2011/8.12, 2012/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	189-192	2011/3.6.9.12
	静岡県立美術館	アマリス	101-105	2011/4.7.10, 2012/1.4
愛知県	安城市歴史博物館	博物館ニュース	80-83	2011/4.7.9.2012/1
	豊橋市美術博物館	風伯：豊橋市美術博物館友会の会報	79-81	2011/3.6.12
和歌山県	和歌山県立自然博物館	自然博物館だより	Vol. 29 No. 2-4	2011/3.9.12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	45-49	2011/3.6.9.12, 2012/3
沖縄県	海洋博覧会記念公園管理財団	南ぬ風	19-22	2011/4.7.10, 2012/1

研究報告

澤田美喜展の総括

* 山口 由紀子・曾根田 貴子

1. はじめに

大磯は、近代以降多くの政財界人や文化人たちが住居とした歴史を有する、由緒ある町として全国的に周知されている。そのため、当館における企画展のテーマとして、大磯の歴史に関連する人物を求め声が多い。こうした声に応えるべく、平成23年度秋季企画展では、エリザベス・サンダース・ホーム開設者として知られ、没後30年以上経った現在もテレビ番組等で取り上げられるなど、若い世代からの関心も高い「澤田美喜」をテーマとして取り上げた。

2. 展示構成と動線の工夫

企画展示室入り口前のスペースに、澤田美喜の生涯を掻い摘んで紹介したムービー（約5分間）を会期中放映した。当館では過去にも企画展において他機関から借用した映像を放映したことがあるが、今回は職員が映像を制作し、ナレーションには大磯町内の「録音ボランティア・ひびき」に担当していただいた。本展でしか見られない、澤田美喜の肉声や知られざる写真などが挿入された貴重な映像であり、非常に好評を博した。展示への導入方法として、また、限られたスペースにおける展示の補助的役割として、映像は効果的であったといえよう。

①「グローバルな視点」、②「生命の尊厳の哲学」、③「平和創造の行動力」、これらを展示の三本柱と位置付け、三つのセクションに分割し、各々パナールで企画展示室を仕切り、右回りに展開した。セクションのタイトルや写真、解説を掲載した大きなパナールは非常に目を引き、来館者を①→②→③と導くことで、澤田美喜の人生をステップを踏むように、進むごとに理解を深めることができるよう努めた。

「澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—」映像

方向性、文章の統一、分りやすさ、時間、語尾・語彙をかために。全体的にはトーン抑え目に

「この映像は3分です」DVD 添付裏

ナレーション：

澤田美喜。

三菱財閥岩崎家に生まれ、初代国連大使澤田廉三の妻となり、戦後、進駐軍兵士と日本人女性の間に生まれた混血孤児を救済・教育した女性。

本展では、「グローバルな視点」「生命尊厳の哲学」「平和創造の行動力」の3つのテーマから、澤田美喜を突き動かし原動力に迫る。

昭和20年、終戦を迎えた日本で、美喜は悲惨な状況を度々目にした。道端に捨てられる子どもたち。中でも、進駐軍兵士と日本人女性の間に生まれた混血児たちが棄てられる事件が日常的におきていた。

ある日、混雑した電車に乗っていると、網棚から荷物が膝に落ちてきた。憲兵の命令で、包みを開くと、なんと生まれたばかりの肌が黒い赤ん坊の遺体が新聞紙にくるまっていた。この出来事が美喜の人生を変えた。

「一度でもこの恵まれぬ子の母親と疑われたらば、多くのこの子とおなじ境遇の子どもたちの母になれぬものか」。(澤田美喜 8秒)

昭和23年、澤田美喜は混血孤児のための孤児院「エリザベス・サンダース・ホーム」を設立することを決意した。

何不自由なく幸せに育った活発な少女は、外国暮らしに憧れ、外交官の澤田廉三と結婚。その後も、常に向上心を持ち続けた。パリでは、女流画家のマリー・ローランサンに絵画の手ほどきを受け、ロンドンでは、シェイクスピア俳優に師事し、演劇も極める。華やかな生活を謳歌し、国際スタンダードを身に付けた。

恵まれた生活の反面、美喜は、本当の幸福とは何かということに、思い悩むようになっていった。キリスト教の奉仕活動、中でもイギリスの孤児院で奉仕する中で、「幸せ」とは、与えられるものではなく、与えるものであるということに気付いたのだ。

エリザベス・サンダース・ホームは設立されたが、美喜は多くの困難に直面した。海外生活の中で育んだ友情のグローバル・ネットワークが、支援の原動力となった。ホーム運営の資金集めのため、ジョセフィン・ペーカーは訪日公演を行っている。ノーベル文学賞受賞者のパール・バックも、養子幹旋事業についての具体的なアドバイスを提供した。元駐日米国大使ジョセフ・グルーや、清里の父と呼ばれるポール・ラッシュも陰になり日向になり経営をサポートした。また、日本の著名な実業家たちも、混血孤児たちが通える学校の設立に賛同し、多くの寄付を寄せた。

美喜は、エリザベス・サンダース・ホームへの資金を募るため、世界中を飛び回り、講演を各地で行った。その合間を縫って、ホームから養子にいったおよそ500組もの子どもたちの家庭を訪れ安否を気遣ったのだ。ブラジルに聖ステパノ農園を開拓したのも、ホームで成長した子供たちの将来を見据えたからだ。海外への講演旅行や視察旅行は、およそ20年もの間、精力的に行われた。

平和創造を願う美喜の功績は、日本だけでなく世界中から称賛の声が寄せられ、国際的な賞を数多く受賞した。死後、大磯名誉町民の称号を与えられた。

彼女の人生は、どんな障害にも負けず、正義のため、子供たちのために奔走したダイナミックなものであった。

(肉声テープ再生・字幕)

(字幕：昭和55年 スペインマジョルカ島で客死 享年78歳)

(※ 当館学芸員)

＜感想・意見＞ 集計アンケート総数 126 通
(原文のまま掲載)

展示内容 本展では澤田美喜という一人の女性を紹介するにあたり、展示のインロダクションとして人生を紹介するビデオを放映した。まとまっていて分かりやすい、という声もある反面、子どもたちの足跡や視点への言及を求める声やビデオ音量に対する苦言もあった。

- ・ 大磯町民となり 4 年、今回初めて来館。澤田美喜さんの多才と信念・行動力に感動いたしました。世界の人類、財力を活かして、人類平和への貢献。このような展示が大磯で初めてということにも、おどろきです。生命尊厳をアピールされていることに感動いたしました。ありがとうございます。(大磯町、女性 56 歳、来館初)
- ・ 尊敬する澤田美喜さんの足跡をたずね今回の展示会に 2 回まいりました。「グローバルな視点」生命尊厳の哲学「平和創造の行動力」3 つの視座、本当の幸福深く考えさせられました。信仰を持って、歩む生涯、ダイナミックな生き方、かくありたいと思われました。(藤沢市、女性 60 歳、来館 5 回)
- ・ エリザベス・サンダース・ホームと澤田美喜さんの事はお話しとして聞いていましたが始めて、この様な物を見せて頂き沢田さんの生命尊厳の考えとグローバルな行動に大変感動致しました。すばらしい企画をして頂き大変にありがとうございます。(平塚市、女性 60 歳、来館初)
- ・ 大変素晴らしい内容で感動しました。資料も豊富でよく収集したと感心。ビデオもよくまとめられており、わかりやすかった。歴史の底にもうれていた。日本女性の驚嘆すべき業績をよく公開してくれた。次の企画も楽しみです。(藤沢市、女性 61 歳)
- ・ 足跡は理解しますが、施設はその後のどの様な形になっているか不明。施設を卒業したたくさんの方からどのような評価気持ちが伝えてやれているのか不明。(川崎市、男性 64 歳、来館初)
- ・ 澤田ミキ展なので仕方がないのかもしれないが、サンダースホームの子供たちの視点が少ない過ぎる。子供たちはどう成長し、幸福な人生を送ったのだろうか？(二宮町、男性 70 歳、来館 3 回以上)
- ・ エリザベス・サンダース・ホーム設立者の澤田美喜の人物を知る上で大変興味深い企画です。残念なのは、資料展示室横の廊下でのビデオの音量が絶え間なく流れて資料を読む集中力にしる苦痛を感じました。ビデオの場所は適当でしょうか？(秦野市、女性 62 歳、来館初)

広報 神奈川新聞・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞や、タウン誌の各誌に取り上げられ、反響も大きかった。

- ・ 毎日新聞で展示を知り参りました。昨年の大河ドラマ「龍馬伝」で岩崎弥太郎に興味をもち、その孫の美喜

さんがこんなにも素晴らしい活動をされたことにただただ感銘を受けました。孤児院運営によって多くの人々に勇気と幸せを与え続けた人生に感銘しました。「幸せは与えるものでなく、与えるもの」を実践したお姿に感動しました。(横浜市、女性 34 歳、来館初)

- ・ 新聞記事で開催を知りました。もっと多くの方へ PR され見ていただけたらよいと思いました。(横須賀市、女性 61 歳、来館初)
- ・ 12 月 1 日付「毎日新聞」で知りました。美喜さんとは生前、取材で直接お会いしたこともあり新聞の記事にしたこともあります。サンダースホームは 3 回ほど訪問。鯛さんとお会い、美喜さん内筆の手紙を贈ったこともあります。懐かしして訪問しました。(横浜市、男性 77 歳、来館初)
- ・ 新聞で開催を知り、来館しました。中学生位の時から TV で沢田さんの事を知り本も読ませていただきました。同じ女性として母となった今、改めて活動されてきた事の偉大さを感じます。日々の生活に理由づけ行動しない自分が恥かしくなりました。お金でかえない幸せ、人に与えることで得られる幸せ～強い思いと行動力が運んでくるのですね。一人を幸せにすることが世界平和へつながる大切にしたいです。(藤沢市、女性 46 歳、来館初)

総括 本展をきっかけに、澤田美喜についてより深く知ることができた、という声が圧倒的に多かった。また、澤田美喜展を待ち望んでいた方も多く、継続的な展示を求める声も少なくない。澤田美喜に対する関心の高さが没後 30 年以上経った今日においてもうかがえる。

- ・ 大磯町の歴史に興味を持ったので、今回初めて訪問したのですが、この企画展でさらに澤田美喜という人物に興味を持つことができました。写真や多くの展示物によって、澤田美喜の取り組みや生活を、よりリアルに見せていただきことができ、本当に勉強になりました。また、澤田美喜の生き方にとても感銘を受けました。(小田原市、女性、来館初)
- ・ なかなか感動させられる企画展でした。よく彼女の事は有名なのに知らなかったけれど、こんなことが出来たなんて町民としてはほりに思います。時々別の角度でやって欲しい。[ビデオや本など] (大磯町、女性 50 歳、来館 3 回以上)
- ・ スバラシクの一言です。よくここまで企画されたと思います。「沢田美喜」名前は知っていましたが、今回本当に良くわかりました。勇気と希望を頂きました。ありがとうございます。昨年初めて来館致しましたが、今後も楽しみです。企画、立案、又、ここまでスバラシク見せて頂けたことに感謝です。資料館の皆様、本当にありがとうございます。(茅ヶ崎市、女性 61 歳、来館 2 回)
- ・ サンフランシスコの叔母宅にエリザベス・サンダー

ス・ホームから昭和32年に引き取られた従兄がいます。祖母が日本に来て、一年後に飛行機に1人で乗ってアメリカに行ったと聞いています。また、こういう企画があったら訪れたいです。(小田原市、女性57歳、来館初)

- ・サンダースホームを駅を降りる度に見ながら沢田美喜の実際の活動をほとんど知らなかったが、この展示を見て感動した。サンダースホームの記念館に常設されればと思う。(大磯町、男性72歳、来館3回以上)
- ・貴重な品が展示されており、たいへん興味深く見させてもらいました。ぜひ、5年に1度くらいの頻度でも再展示をお願いします。(大磯町、来館30回)
- ・澤田美喜さんの人生にとっても心を動かされておりましたので、今回の展示会ははともしり難く思っております。まだまだ沢山の事が澤田さんにとって私たちに知らしめる資料があるかと思えます。又、次の展示会を楽しみにしておりますので是非開催を望みます。(平塚市、女性67歳、来館2回)

※アンケートへのご協力ありがとうございました。

資料整理の軌跡

<ロバート氏の資料調査概要>

- ハワイ大学ロバート・A・フィッシュ氏が横浜国立大学名誉教授松本先生の手ついで、ESH内の資料を調査実施。

<大磯町史編纂室資料調査概要>

- 平成3年～20年：澤田美喜関連資料調査整理実施

※ESHの資料整理は平成14年から開始、その際ロバ-

ート氏整理済資料を「ロバートファイル」として一部引き継ぐ。蔵に保管されているロバート氏整理済資料「KSS(旧澤田室1～20以上)」段ボール内のファイルはロバートファイルには引き継がれなかったもの。

<鳥取敬愛高校資料調査概要>

- 平成12年8/8、9：ESH初訪問、ママちゃまハウスの資料借用を依頼、ロバート氏が調査中という理由で澤田氏に断られる。
- 平成16年8/7～9：ESH調査。ロバート氏の調査がママちゃまハウスに及んでいなかったことを知り、藤村美津前園長に再度資料借用を依頼、理事会上で踏ってもらう。
- 平成16年11/11、12：敬愛高校にて藤村前園長との交流会、ESHの資料を持参してもらう。
- 平成17年7/30、31：ESH調査
- 平成17年冬：研究をまとめる。

<鳥取県立公文書館資料調査概要>

- 平成17年度：澤田康三・美喜関連資料整理調査開始
- 平成20年秋～冬：企画展・巡回展開催
- 平成21年度：資料集『澤田康三と美喜の時代』の刊行に伴う最終的な調査実施(なお、資料返却は、震災の影響により平成23年7月までかかっている。)

<大磯町郷土資料館資料調査概要>

- 平成23年5月～10月：澤田美喜関連資料調査実施
- 平成23年夏：蔵の存在を知り、蔵の調査実施
- 平成23年10/22～12/11：企画展「澤田美喜一人はどんな色にでも塗り替えられるキャンバス」開催

講座『みんなで町の自然を調べよう～夏の七草の分布しらべ～』
及び学習参考資料展『みんなで調べた今夏の大磯町の花』の
実施報告

* 北水 慶一

1. はじめに

大磯町郷土資料館では、前年度に引き続き教育普及活動事業と企画展事業を連動させた企画を実施した。教育普及活動事業に位置づける植物分布調査と企画展事業とを組み合わせたものである。前回は春の植物を対象に実施しており、今回は次節である夏の植物を対象とした。企画の進め方は、春の植物調査の企画と同様に調査と展示とをセットとして進め、企画展会期中にも調査を行ない、その都度、調査の結果を反映させるというやり方で進めた。本稿では企画の進行を紹介するとともに一連の調査の結果を紹介する。

2. 講座『みんなで町の自然を調べよう～夏の七草の分布しらべ～』の実施

2-1. 調査方法

1) 調査員

調査員は植物調査に慣れている方、不慣れな方を問わず、町広報で募集し、参加を募った。呼びかけに対して大磯町、二宮町在住の30人の方々にご応募いただいた。

2) 調査期間

調査期間は1年間で24の時期に分ける二十四節気をもとに、立夏(5月6日)から立秋の前日(8月7日)までを調査期間とした。

3) 調査対象の植物

調査対象の植物は調査参加者との話し合いのもと、14種類に絞り込んだ。前回の春の植物の調査の時は、事前に当館で候補をあげ、その候補の中から調査参加者の方々に選んでいただいたが、今回は夏の七草という一案はあったもののほぼ白紙の状態であった。最終的に大枠は「夏の七草」、「ヒルガオ」、「ウツギ」、「ミズキ」とした。夏の七草はホームページ等で調べるといくつかの7種類の植物の組み合わせがあったが、今回の調査では、栃木県立図書館のホームページを参考に1945(昭和20)年に日本学術振興会学術部・野生植物

活用小委員会が選定した夏の七草を対象とした。アカザ、ヒユ、イノコヅチ、スベリヒユ、シロツメクサ、ヒメジョオン、ツユクサであり、このうち大磯町では確認記録のないヒユは除外した。

「ヒルガオ」は調査参加者から上がった意見を採用した。大磯町の町の花がハマヒルガオであることから提案されたものである。ヒルガオ属の植物であるヒルガオ、コヒルガオ、ハマヒルガオを対象とした。

「ウツギ」、「ミズキ」は山野を中心に大磯町でよく見られる植物である。調査対象とした理由は「夏の七草」、「ヒルガオ」は草本であり、木本についても対象植物として含めた方がよいという意見が出たことによる。「ウツギ」はウツギ属の植物であるウツギ、ヒメウツギ、マルバウツギを、「ミズキ」はミズキ属の植物であるミズキ、クマノミズキを対象とした。

4) 調査方法

調査は合同調査、個別調査の2種類で実施した。

合同調査は種の見分け方や確認できそうな環境等の情報交換を目的に調査期間中に3回行なった。運動公園や大磯駅等参加者が集まりやすい場所に集合し、巡回後また同じ場所で解散できるようにコースを組んだ。個別調査では大磯町を17の区域に分け、それぞれの区域に担当者をあてて、都合のよい時に巡回できるようにした。

2-2. 調査の結果

それぞれの調査の結果は、図2から図15のとおりである。地図上に確認したポイントを赤い丸印で示している。実際の調査では確認した場所で株数を数え、10株以上と10株未満の場所では表記の仕方を変えたが、本稿の図では、特に区別をせず、確認したポイントのみを紹介している。

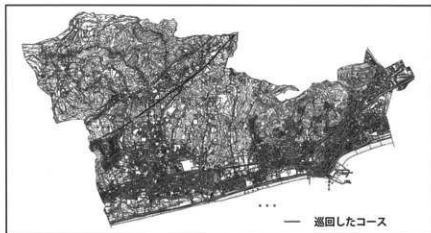


図1 巡回したコース

大磯町1995年発行「大磯町全図(1万分の1)」の地図を縮小して使用

(* 当館学芸員)

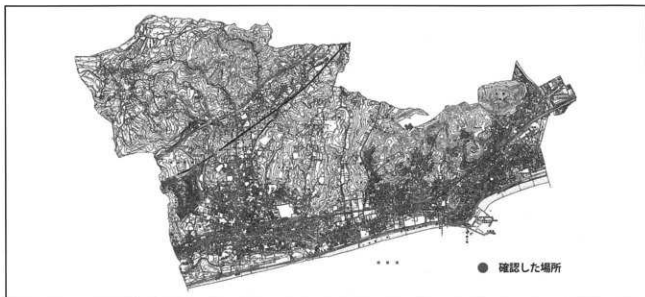


図2 アカザ（シロザを含む）の分布

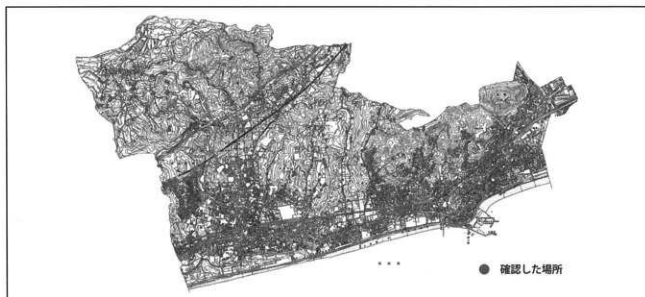


図3 イノコヅチ（ヒカゲイノコヅチを含む）の分布

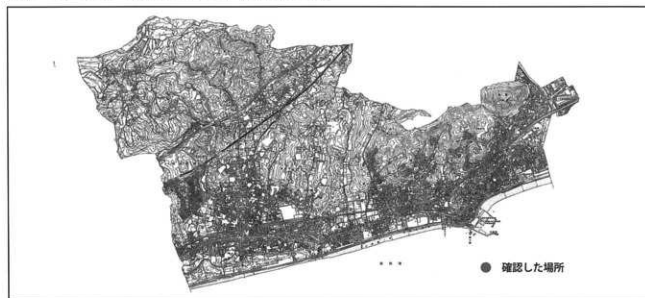


図4 スペリヒユの分布



図5 シロツメクサの分布

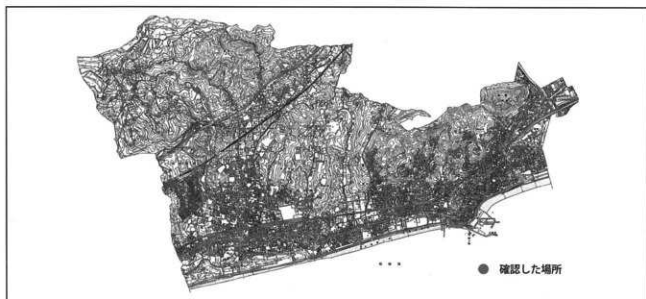


図6 ヒメジョオンの分布

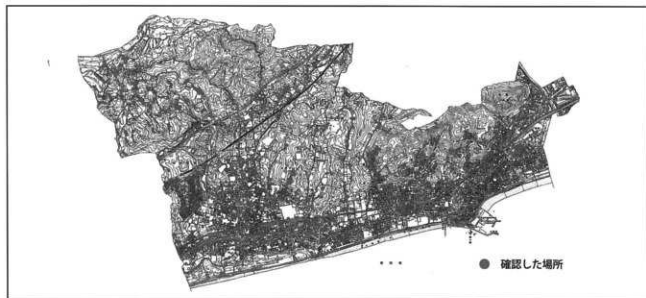


図7 ツクサの分布

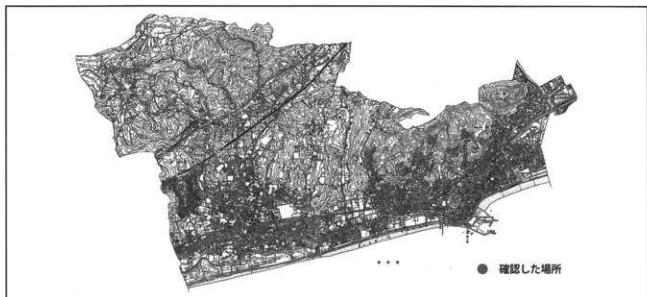


図8 ヒルガオの分布



図9 コヒルガオの分布

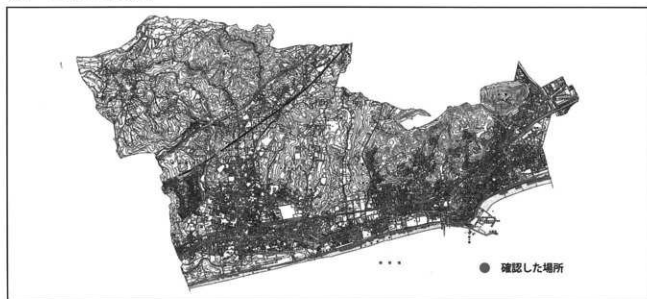


図10 ハマヒルガオの分布

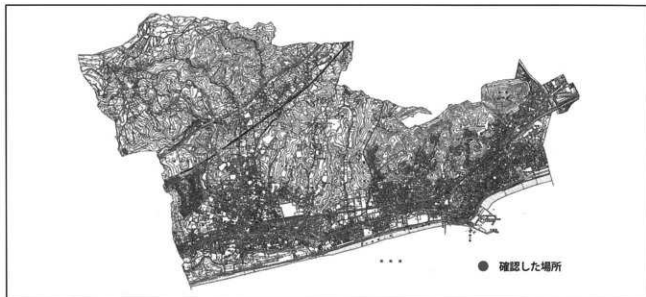


図 11 ウツギの分布

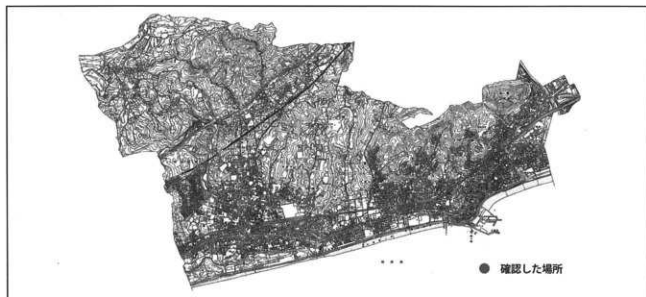


図 12 ヒメウツギの分布

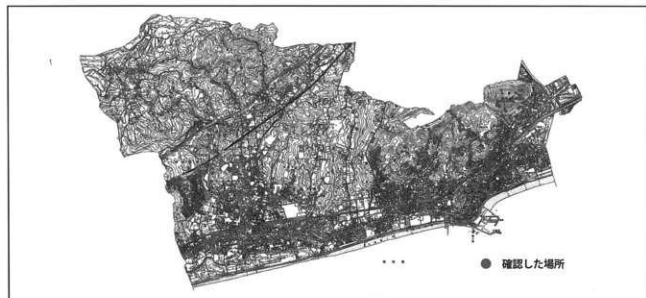


図 13 マルバウツギの分布

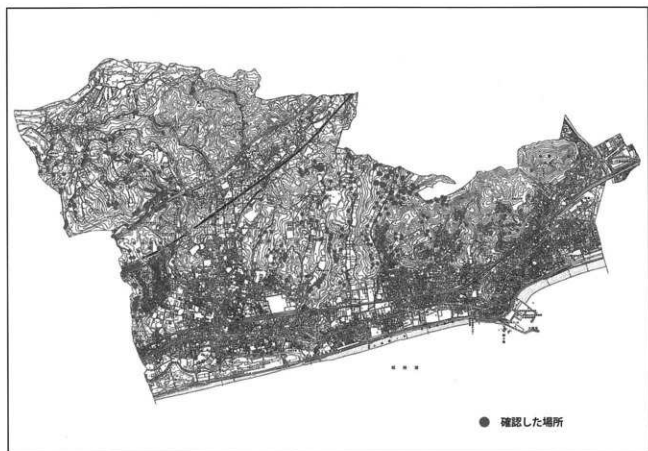


図14 ミズキの分布

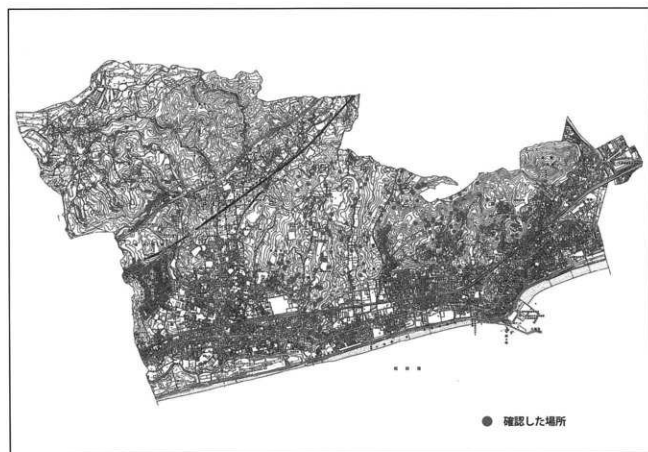


図15 クマノミズキの分布



図 16 調査の様子

1) 夏の七草

前述のとおり、ヒユを除く6種類を調査対象とした。今回の調査ではアカザは花序が出る頃はシロザとの見分けがつきにくくなることから、シロザも含めて記録を取ることにした。また、イノコヅチも同様に調査の時期は花序が出る前のものばかりで、同定のポイントとなる付属体の確認ができないため、ヒナタイノコヅチ、ヒカゲイノコヅチの区別はせず、一括りにイノコヅチとして記録した。

調査対象とした6種類をすべて確認することができた。特にツクサが多く見られた。イノコヅチ、ヒメジョオン、ツクサは住宅地、丘陵地のいずれでもよく確認でき、アカザ、スベリヒユ、シロツメクサは住宅地の空き地や田畑の脇でよく見られた。

調査に参加された方から、何度も見ることでハルジオン、ヒメジョオンの違いがよく分かったと意見をいただいた。また、スベリヒユは調査の前半はあまり植物自体が見られず、終盤頃からようやく花が見られるようになった。

2) ヒルガオ

調査の実施前から分かっていたことではあるが、ハマヒルガオは海岸を中心に見られた。住宅地でも3箇所で見られた。ヒルガオ、コヒルガオは丘陵地を中心に、道路沿いでよく見られた。ツル性の植物であるため、フェンスに絡んでいるものを見かけることが多かった。分布図をまとめて分かったことだが、ヒルガオとコヒルガオは分布が非常に似ていた。株数についてはヒルガオの方がやや多かった。

3) ウツギ

3種類とも確認できた。ヒメウツギは少なく確認できた場所は丘陵地3箇所と住宅地1箇所であった。ウツギは住宅地や住宅地から丘陵に入る道路沿いを中心に見られた。マルバウツギは山間の道路沿いでよく見られた。本調査で最も驚いたのは、マルバウツギの多さである。丘陵地の道路沿いの山側にはマ

ルバウツギが連続して見られた。樹木としては本町で最も多い種のひとつではないかと思われた。

4) ミズキ

ミズキとクマノミズキでは開花時期が1ヶ月異なるため、容易に見分けることができた。ミズキ、クマノミズキは同じような場所で見られた。特に丘陵地の道路沿いが多かった。確認した本数はミズキの方が多かった。

3. 学習参考資料展『みんなで調べた 今夏の大磯町の花』の開催

調査は8月7日までであったが、調査が完了する15日前の7月23日から学習参考資料展を開催した。学習参考資料展という展示名称にしたのは、小学校理科「生き物のくらし(2)夏の自然」、中学校理科の「植物の世界」の学習に合わせた展示内容にしたことによる。

展示の準備は、調査に参加された方にもご協力いただいた。7月12日、7月14日、7月15日、7月20日の4日間で、調査結果の集計とともに企画展示室での地図の掲示をさせていただいた。

展示の構成は、「夏の七草」、「ヒルガオ」、「ウツギ」、「ミズキ」という項目別にあげた個々の種類の分布状況を地図で紹介するとともに調査期間に確認した夏の花の写真を紹介するものであった。夏の花の写真の展示とは、立夏(5月6日)から立秋の前日(8月7日)までの期間に大磯町内で撮影された花の写真を展示するものであり、調査に参加された方はもちろんのこと、チラシや展示を見られた一般の方からもご提供をいただいた。最終的に10人の方々からご提供いただいた。会期中に徐々に手を加え、学習参考資料展初日の写真の展示枚数は61枚であったが、最終的に92枚となった。記録として展示した写真の一覧を表1に紹介する。



図 17 夏の花の展示風景

表1. 展示した夏の花の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	アカメガシワ	6月25日	大磯		47	ツユクサ	6月26日	国府新宿	吉川 武士
2	イタチハギ	5月21日	国府新宿	平島 靖士	48	テイカカズラ	6月8日	生沢	
3	イチヤクソウ	6月8日	生沢		49	テリハノイバラ	7月9日	東小磯	
4	イヌビワ	7月9日	大磯		50	トキワツユクサ	6月23日	西小磯	
5	イワニガナ	5月15日	西小磯		51	ドクダミ	6月8日	生沢	
6	ウサギアオイ	5月13日	国府新宿	吉川 武士	52	トベラ	5月25日	大磯	
7	ウシハコベ	5月14日	西小磯		53	ナツズイセン	(未詳)	大磯	安永 一夫
8	ウツギ	6月1日	生沢		54	ナツツバキ	6月23日	西小磯	
9	エゴノキ	5月26日	西小磯		55	ナンテン	6月23日	西小磯	
10	エノコログサ	7月16日	西小磯	曾根 ハツエ	56	ネジバナ	6月23日	西小磯	
11	オオジシバリ	(未詳)	大磯	安永 一夫	57	ネズミモチ	(未詳)	月京	養島 淳子
12	オオバウノズクサ	5月14日	西小磯		58	ネムノキ	7月9日	西小磯	
13	オカタイトゴメ	6月24日	国府新宿	吉川 武士	59	ノアザミ	6月8日	生沢	
14	オカヒジキ	7月9日	東小磯		60	ハコネウツギ	6月8日	生沢	
15	オドリコソウ	5月14日	国府本郷		61	ハハコグサ	6月8日	生沢	
16	オニユリ	7月29日	西小磯		62	ハマゴウ	7月9日	西小磯	養島 淳子
17	カナメモチ	5月14日	西小磯		63	ハマゴウ	7月9日	西小磯	
18	カラスウリ	(未詳)	大磯	安永 一夫	64	ハマヒルガオ	5月25日	大磯	
19	キシウブ	6月1日	生沢		65	ハマボウフウ	7月8日	東町	
20	キツネアザミ	5月14日	西小磯		66	ハルジオン	6月1日	生沢	
21	キョウチクトウ	(未詳)	大磯	安永 一夫	67	ヒメジョオン	6月8日	生沢	
22	キンシバイ	6月25日	大磯		68	ヒメヒオウギズイセン	(未詳)	大磯	安永 一夫
23	クマノミズキ	6月25日	大磯		69	ヒメヤブラン	7月9日	西小磯	
24	クララ	(未詳)	大磯	安永 一夫	70	ヒルガオ	6月8日	生沢	
25	クリ	6月17日	国府本郷	内山 千代子	71	ヒルギツキミソウ	7月8日	東町	
26	クリ	(未詳)	大磯	安永 一夫	72	ヘクソカズラ	7月9日	西小磯	吉川 武士
27	クロガネモチ	6月17日	国府本郷	内山 千代子	73	ホタルカズラ	5月17日	虫窪	村田 愈子
28	クサフジ	6月23日	寺坂		74	ホタルブクロ	6月8日	生沢	
29	ケカモノハシ	7月9日	西小磯		75	マサキ	7月8日	東町	
30	ケキツネノボタン	6月8日	生沢		76	マツバウンラン	6月8日	生沢	
31	ケンボナシ	6月23日	虫窪	村田 愈子	77	マユミ	5月21日	西小磯	
32	コゴメウツギ	5月15日	虫窪	村田 愈子	78	マルバウツギ	6月1日	生沢	
33	コハンソウ	5月13日	国府新宿		79	マルバシャリンバイ	(未詳)	大磯	安永 一夫
34	コヒルガオ	6月8日	生沢		80	ミズキ	5月14日	西小磯	
35	コモチマンネングサ	6月25日	大磯		81	ミヤコグサ	(未詳)	大磯	安永 一夫
36	コンフリー	(未詳)	大磯	安永 一夫	82	ムシトリナデシコ	6月8日	生沢	
37	サラサドウダン	5月15日	虫窪	村田 愈子	83	ムラサキカタバミ	5月14日	西小磯	
38	シモツケ	6月23日	西小磯		84	ムラサキサギゴケ	5月14日	西小磯	
39	シロザ	(未詳)	大磯	安永 一夫	85	ムラサキツメクサ	7月8日	国府新宿	吉川 武士
40	スイカズラ	5月18日	国府本郷	内山 千代子	86	ムラサキツユクサ	5月14日	西小磯	
41	スイカズラ	6月8日	生沢		87	ヤブカラシ	6月24日	国府新宿	吉川 武士
42	スイバ	(未詳)	大磯	安永 一夫	88	ヤブカンゾウ	7月7日	国府本郷	内田 千代子
43	スベリヒユ	7月18日	国府本郷	加藤 喜規	89	ヤブニッケイ	6月23日	西小磯	
44	センダングラ	5月25日	国府本郷	平島 靖士	90	ヤブニッケイ	6月23日	西小磯	
45	ソクズ	7月18日	虫窪	村田 愈子	91	ヤマユリ	7月30日	虫窪	土方 澄江
46	タンナミソウ	5月16日	虫窪	村田 愈子	92	ユキノシタ	6月8日	生沢	

「撮影者」欄の未記載のものは、郷土資料館職員が撮影したものと推定される。

4. まとめ

学習参考資料展『みんなで調べた 今夏の大磯町の花』は前年度に実施した学習参考資料展『みんなで調べた今年の大磯町の春花』と同じ手順で企画を進めた。展示を開始する3ヶ月前のガイダンスの時点から資料の収集を始めた。当初は1年目の経験から、調査を順調に進めることができるだろうと考えていたが、梅雨時であったため、5月下旬と6月中旬に予定した合同調査が雨天のため、中止になった。6月下旬になると気温が上がり、思うように町内を巡回することが難しくなった。そのため最終的に春の調査よりも巡回したコースは短くなってしまったが、調査員の方々のご協力により大磯町全域を巡回することができた。調査には30人の方々に参加していただいた。多くは春の調査を経験されている方々であり、個別調査も慣れている前年度と同じ場所を希望される方がほとんどであった。調査に参加された方から、本調査は大磯町内に住んでいても歩いたことのない場所を巡回することができるのでよい。繰り返して同じ植物を見るので他種と細かな違いが理解できるという感想をいただいている。前年度の調査と比較して気候の面では、難しさを感じたが、樹木の葉が次第に青みを増し、草花も春とは異なる種類が見られるようになり、春から夏への季節の移り変わりがはっきりと分かる自然に十分に親しめる企画が進められたと思う。

ただし、前回と同様の反省になるが、本展は展示資料が写真と図に偏り、実物の資料が少ない展示となった。根拠標本を残していきたいと考えているが、

時間的に手が回らない状況となっている。今後、秋、冬の植物調査を進める中で解決策を見つけていきたい。

最後に調査及び展示準備にご参加いただいた方の名前を記して、感謝申し上げます。

秋山京子・内山千代子・大久保恵美子・大久保武・小寺美智子・小野恵子・小宅昭樹・加藤喜規・川原一恵・菊池なつみ・小山由雄・鈴木昭夫・曾根ハツエ・外川敏子・中村ふち・畠山恵子・曳野義子・平島靖士・布施鈴子・松島まり子・養島淳子・宮川紀子・村上敦子・村田愈子・安永一夫・柳田利幸・柳田道雄・矢部良子・吉川武士・和田美乃

(敬称略)

5. 参考文献

- 浅野貞夫・廣田伸七(2002)『似た草80種の見分け方』全国農村教育協会
- いがりまさし(2008)『花色で引ける・見分け方がわかる〔開花順〕四季の野の花図鑑』技術評論社
- 神奈川県植物誌調査会編(2001)『神奈川県植物誌2001』神奈川県立生命の星・地球博物館
- 林弥栄ほか監修(2003)『樹木 見分けのポイント図鑑』講談社
- 林弥栄ほか監修(2003)『野草 見分けのポイント図鑑』講談社
- http://www.lib.pref.tochigi.jp/reference_ex/al1r/r072.htm

年 報

平成 23 年度

◇ 平成 25 年 3 月 29 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463 (61) 4700 FAX 0463 (61) 4680